

第四十六回 貴族院議事速記録第二十八號

大正十二年三月二十五日(日曜日)

午後一時二十四分開議

議事日程 第二十八號 大正十二年三月二十五日

午後一時開議

- | | | |
|-----|---|---------------|
| 第一 | 都市計畫法中改正法律案(政府提出)
明治四十一年法律第三十七號中改正
法律案(衆議院送付) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第二 | 賠償金特別會計法中改正法律案(政府提出)
衆議院送付) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第三 | 對支文化事業特別會計法案(政府提出)
衆議院送付) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第四 | 大正九年度歲入歲出總決算、大正九
年度各特別會計歲入歲出決算報告 | 會 議(委員長報告) |
| 第五 | 農業倉庫業法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第六 | 人事訴訟手續法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第七 | 國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案
(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第八 | 司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル法
律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第九 | 產業組合法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十 | 日本勸業銀行法中改正法律案(衆議
院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十一 | 郵便貯金法中改正法律案(衆議院提
出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十二 | | |

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

昨二十四日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ修正ニ同

意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ
競馬法案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨
ヲ衆議院ニ通知セリ

遼洋漁業獎勵法中改正法律案

大正十年法律第二百二號中改正法律案

工場法中改正法律案

工業労働者最低年齡法案

船員ノ最低年齡及健康證明書ニ關スル法律案

西比利亞引揚ノ爲損害ヲ被リタル者等ノ救恤ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付
セリ

產業組合中央金庫法案

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ衆議院提出案ハ本院ノ修正ニ同意シ
奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

產業組合中央金庫法案

同日特別委員長ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關スル公債發行ニ關スル法律案特別委員
會

委員長 公爵近衛 文麿君

副委員長 男爵藤村 義朗君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

都市計畫法中改正法律案可決報告書

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案可決報告書

賠償金特別會計法中改正法律案可決報告書

對支文化事業特別會計法案可決報告書

國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案否決報告書

本日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案特別委員會

委員長 岡田 良平君

副委員長 子爵藤谷 爲寛君

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案可決報告書

支那ニ本店ヲ設クル會社ノ資本ニ關スル法律案可決報告書

所得稅法中改正法律案(衆第一號)否決報告書

所得稅法中改正法律案(衆第八號)修正報告書

所得稅法中改正法律案(衆第二十號)可決報告書

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關スル公債發行ニ關スル法律案可決報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、都市計畫法中改正法律案、第二、明治四十一年法律第三十七號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

都市計畫法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十四日

右特別委員長

侯爵蜂須賀 正詔

貴族院議長公爵德川家達殿

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十四日

右特別委員長

侯爵蜂須賀 正詔

貴族院議長公爵德川家達殿

〔侯爵蜂須賀正詔君演壇ニ登ル〕

○侯爵蜂須賀正詔君 都市計畫法中改正法律案外一件ノ特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告イタシマス、營業稅法ノ改正ニ伴ヒマシテ、地方稅附加稅ノ減收ヲ補填セムガ爲ニ附加稅ノ増率ヲナスノガ此兩案デアリマス、政府ノ説明ヲ承ハリマス、營業稅法ノ改正ニ因リマシテ、營業稅ガ約千九百萬圓減

少ノ結果ヲ見タノデアリマシテ、其中附加稅ガ千五百萬圓ノ減收ニ相成ルノデ、ソレヲ其儘ニ致シテ置キマスルト、地方ノ財源ニ缺陷ヲ生ズルノミナラズ、戶數割及ビ所得稅、地租ノ附加稅等ノ負擔關係等ニ影響ヲ及ボシマスル虞レガアルノデ、ソレデ明治四十一年法律第三十七號ニ規定シタル現行ノ附加稅率ヲ増率イタシマシテ、之ヲ補ハムトスルノデアリマス、此減收全部ヲ營業稅附加稅ノ増率ニ依テ填補セムトスルハ、營業狀態ニ依テ、國稅ト附加稅トヲ合セマスルト、或ル場合ニハ從來ヨリ總負擔額ガ増加スルヤウナコトニ立到ルノデ、此點ヲ大イニ考慮シマシテ、政府ニ於テハ減收額ハ千五百萬圓デアリマスルガ、其中約二百七十萬圓ト云フモノヲ減少シテ千二百三十萬圓ダケヲ補填スル案ナノデゴザイマス、而シテ營業稅附加稅ハ改正案ノ如ク稅率ヲ増シマスルト、前ニ申上ゲマシタヤウニ二百七十萬圓ノ減少ヲ生ズル、其分ハ地方財政ノ緊縮ニ依テ生ズル餘裕ヲ以テ補填シヤウ、斯ウ云フノデアリマス、尙ホ沖繩縣ニ於キマシテ、現在ハ縣ト市町村トノ地租附加稅ノ制限率ガ、内地ノ分トハ正反對ノ規定ニナッテ居リマスノデ、ソレヲ今日デハ沖繩縣モ發達イタシマシタ故、特例ヲ其儘存シテ置クト云フ必要モナイノデ、今日デハ他ノ府縣同様ニ改メタイ、斯ウ云フノデアリマス、又都市計畫事業ノ財源タル營業稅割ニ於キマシテハ、此營業稅法ノ改正ニ伴ッテ減收ヲ生ズルノデアリマスルカラ、營業稅附加稅率ノ改正ト同一趣旨ニ依テ、之ガ減收ヲ補填シヤウトシテ稅率増加ヲスルノデアリマス、之ニ對シマシテ營業稅附加稅ノ減收二百七十萬圓ヲ財政緊縮ニ依テ補フノハ宜シイガ、營業稅附加稅ノミ輕減サレ、營業者以外ノ者ノ負擔ト對比シテ見マスルト、不公平ノ結果ヲ生ジヤシナイカト云フ質問ガ、委員ノ中カラアリマシタ、ソレニ對シテ政府ハ、二百七十萬圓ノ減收ハ營業者ノ從來ノ負擔ヲ成ルベク増サナイヤウニシヤウト云フコトヲ考慮シテノ結果デ、是ハ己ムヲ得ナイノデアアル、又地方財政ハ營業稅附加稅ノ減收額以上ニ緊縮サセルノデアアル、他ノ稅ニ於テモ相當輕減スルコトナルノデ、差支ハナイデアラウト思フ、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、又今回ノ營業稅附加稅ノ増率ニ依テ、營業者ハ從前ヨリ負擔ヲ増ス如キモノヲ生ジヤシナイカ、尙ホ法律實施ノ結果、萬一負擔ガ増加スル場合ハ更ニ法律ヲ改正デモスル意思ガ、政府ニアルノデアラウカト云フ質問ガアリマシタ、ソレニ對シマシテハ、今回ノ増率ハ營業稅ノ減少歩合ヲ最モ低キモノヲ標準トシテ、更ニソレヨリ一定ノ割

合ヲ控除シタ所ヲ以テ増率ヲ定メタモノデアアルカラ、從來ノ負擔額以上ニ出ルモノガアルカモ知ラヌガ、ソレハ甚ダ稀デアアル見込デアアル、サウ云フ答辯デアリマシタ、討論ニ移リマシテ委員諸君ノ中ヨリ今度改正ニ依テ他ノ地方税ト權衡ヲ失フヤウナ虞レガアルカラ、適當ナ機會ニ於テ十分サウ云フ點モ政府ニ於テ考慮シテ貰ヒタイ、又今一ツニハ此際一層地方財源ノ節約ニ努メ、本法ノ改正ニ依ル稅源緩和ノ爲ニ冗費ヲ増加スルト云フヤウナ點ニハ注意サレタイト云フヤウナ希望ノ御意見モ出タノデアリマス、結局委員會ハ此二件ヲ地方財政上已ムヲ得ナイコトデアアルト認メマシテ全會一致デ可決イタシマシタ、此段御報告イタシマス

○山脇玄君 私ハ内務大臣ニ伺ヒタイノデスガ宜シウゴザマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○山脇玄君 ソレデハ簡單ニ是カラ御伺ヒ致シマス、唯今法律案ハ大體ニ於キマシテ國稅ノ改正、國稅ガ減シタニ付テ附加稅ガ減ズルニ付テハ、附加稅ノ中ヲ改メタイト云フ法案デアアルノデアリマス、ソレニ關聯シテ内務大臣ニ伺ッテ見タイノハ、私ハ久シク東京市ノ住民デアリマス、東京市一般ノ設備、道路問題、衛生設備ト云フヤウナモノハ誠ニドウモ不完全デ帝都ノ面目ヲ保ツニ耻シイヤウナ感ジヲ持ツ、ソコデ其一二ノ例ヲ舉ゲテ見マス云フト、道路ハ成ル程、一部ハ徐々ニ改良サレテ行クヤウデアリマスガ、ソレト同時ニ應急的ノ……我々步行者ガ困ルノハ少シ低イ所ニ砂利ヲ置クト云フヤウナ應急的ノコトデ、私共ノ考デハ費用ハ相應ニ掛ッテモ一向ニ效能ガ無イト云フ考ヲ持ツノデス、ソレカラ衛生上ノ設備、是ナドモ例ヲ舉ゲマス云フト、東京ノ本所、深川邊ノ細イ横道ニ參リマス云フト、溝ノ境界サヘモ無イ、溝板ガ腐ッテ其儘ニナッテ居ル、昨年モ私ハ見ルニ見兼ネタカラ東京市ヘ行ッテ段段話シテ見マス云フト、其有様ハ能ク知ッテ居リマスケレドモ、ドウモ手ガ届キマセスト云フ答デアアル、手ガ届カスト云フコトハ費用ガ無イカラト云フコトハ私ハ承知イタシタ、ソレカラ私ノ近所ノ溜池ヲ埋メタ時分ニ土管ノ入方ヲ誤ッタンデアラウト思フケレドモ、雨ガ降レバ出水スルコトガ度々アル、一年前ニ丁度私ガ散步ニ出テ歸リニ大雨ガ降リマシテ歸ラウト思フタ所ガ、町ノ方ノ側ハ水ガ溢レテ歩ケナイ位ニナッテ居タ、怪シカラスト思ッテ私ハ氷屋ニ飛込シテ段々話ヲ聴キマス云フト、大雨ガ降リマスツイッデモ斯ウデアアル、激シイ時ハ床ノ下マデ來ルト云フ話デアリマシタ、又其後通ッテ

見マス云フト、疊ガ干シテアリマシタカラ段々聽イテ見マス、床ノ上マデ水ガ上ッタト云フコトデ、是ハ怪シカラスト思ッテ段々聽イテ見ルト、溜池ヲ埋メル時ニ小サイ土管ヲ入レタカラ、斯ウナルノダト云フコトデアリマスト言ッテ居ル、何故東京市ヘ訴ヘナイカ、ト言ヒマスルト、交番ヘハ數回行キマスケレドモ、餘リ度々行キマス巡査ガ變ナ顔ヲシマスカラ其儘泣寝入ニナッテ居ル、斯ウ云フコトデアリマス、ソレカラ市中ノ總テ芥箱ニシテモ蓋ガシテアレバ宜イガ、中ガ溢レテ溝ヘ其芥ガ出テ居ルト云フヤウナ有様デ、其他細カイコトハ幾ラデモ目撃シテ居リマスガ、ソレ等ノコトハ申シマセヌガ、兎モ角モ衛生上其他ノ設備ガ不完備デアアル、是ハ全ク財源ガ無イト云フノデス様デアラウト考ヘルノデアリマスガ、併ナガラ今日財源ガ無イニシタ所デスナ、ヤリ様ニ依ッテハモウ少シ現在ノ所ヲ改良スルコトハ私ハ出來ナイコトハナイト思フ、久シク私ハ東京ニ住ンデ居リマスカラ、自分ノ素人考デハ今日財源ガ無イニシタ所デ、之ヲ巧ク使ヘバマダマダ仕事ハ出來ル、況ヤ財源ガ無イカラ仕事ガ出來ナイト云フノデアアルガ、其邊ハ内務大臣ガ監督ノ目デ御覽ニナル有様ヲ伺ッテ見タイト思フノデスガ如何デス

〔國務大臣水野鍊太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(水野鍊太郎君) 東京市ニ於キマスル道路其他ノ衛生工事ニ付キマシテ、不十分ナ點ガアルマイカ、之ニ對シテ如何ナル考ヲ持ッテ居ルカト云フヤウナ御質問ト承知イタシマス、東京市ニ於キマスル道路其他ノコトニ付キマシテ、尙ホ多クノ改善ヲ要スル點ハ有ルト思フノデアリマス、之ニ付キマシテハ、市當局者モ銳意努力イタシテ居ルト思フノデアリマス、唯今御述ベニナリマシタガ如クニ、市ノ財政ノ關係モアリマシテ、意ノ如クナラヌ點ノアルノハ、私モ遺憾ト思ッテ居ルノデアリマス、道路ニ付キマシテ、市ニ於キマシテモ相當ノ計畫ヲ立テマシテ、或特定ノ道路ニ對シマシテハ、鋪裝工事ヲ爲スト云フ計畫ヲ立ッテ居ルノデアリマス、尙ホ其以外ノコトニ對シマシテモ出來得ルダケノ力ヲ致スコトニシテ居ルト思フノデアリマス、併シ何分ニモ財政上ノ都合ガアリマスノデ、サウ思フヤウニハ行カナイノデアリマス、併シ出來ルダケ財政ノ許ス範圍ニ於キマシテ、十分ナル力ヲ致スヤウニ致シタイト思ヒマス、此點ニ付キマシテハ内務省ニ於キマシテモ極力市ト共ニ之ガ完成ヲ計ルコトニ致シタイ考ヲ持ッテ居リマス、監督上ノ點ニ於キマシテモ希望イタシテ居ル次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今蜂須賀特別委員長ノ報告セラレマシタ日程第一、第二ニ掲ゲテゴザイマス兩案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○子爵數篤麿君 賛成

○侯爵蜂須賀正韶君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 兩案ノ第二讀會ヲ直チニ開クコトニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三、賠償金特別會計法中改正法律案、第四、對支文化事業特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、内田嘉吉君

賠償金特別會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十四日

右特別委員長

伯爵奧平 昌恭

貴族院議長公爵徳川家達殿

對支文化事業特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十四日

右特別委員長

伯爵奧平 昌恭

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔内田嘉吉君演壇ニ登ル〕

○内田嘉吉君 唯今、議題ニ上ボリマシタ賠償金特別會計法中改正法律案、對支文化事業特別會計法案、此二案ノ特別委員ノ經過及ビ結果ヲ報告申上ゲマス、委員長ハ差支ガゴザイマスノデ、私カラ此兩案ニ付テノ審査ノコトヲ御報告ヲ申上ゲマス、第一ニ賠償金特別會計法中改正法律案ニ付テ申上ゲマスガ、此法律ハ大正九年ニ發布ニナリマシタモノデゴザイマシテ、獨逸國トノ條約ノ關係ニ於キマシテ、賠償金ヲ取得イタシマシタ場合ニ、之ヲ特別會計ニ歸屬セシムルト云フコトデゴザイマシテ、既ニ實施ニ相成ッテ居ルモノデゴザイマス、近頃山東ニ關スル條約ガ締結ニ相成リマシテ、其結果ト致シマシテ、我國ヘ支那ヨリ山東鐵道及鑛山ニ關シマシテ引渡シマシタノニ對シ、條約ニ定ムル所ノ證券ヲ拂入レルコトニ相成ッタノデゴザイマス、即チ既ニ設ケラレテアリマスル賠償金特別會計法ニ一條ヲ追加イタシマシテ、サウシテ此規定ヲ設ケタ趣意デゴザイマスル、其金額ニ付テ申上ゲマスガ、獨逸國ガ賠償ヲ致シマスニ付テハ、山東ノ鐵道及鑛山ニ付キマシテ、獨逸ノ金ノ「マルク」ニ於キマシテ、五千九百萬「マルク」ヲ支拂フコトニ相成ッテ居リマス、即チ之ヲ日本ノ金ニ換算イタシマスルト、約二千八百二十萬圓程ニ相成ルノデゴザイマス、而シテ今回ノ山東懸案解決ニ關スル條約ニ依リマスルト、鐵道ニ付キマシテハ四千萬圓、鑛山ニ付キマシテハ五百萬圓ノ金ガ我

國ニ拂ハレルコトニ相成ルノデゴザイマス、此四千萬圓竝ニ五百萬圓ノ二件ノ金額ノ中、平和條約ニ依リマシテ、賠償委員會ニ於キマシテ決定イタシマシタ金額ノ割合ニ之ヲ分ツテ見マスルト、四千萬圓ノ内二千五百五十萬圓ガ鐵道ノ分、五百萬圓ノ内二百六十七萬圓ト云フモノガ鑛山ノ分トシテ即チ此賠償金特別會計法ノ方ニ歸屬スベキモノデゴザイマス、即チ其二件ノ金額ヲ賠償金特別會計法ノ中ニ歸屬セシムルト云フコトヲ、第七條ニ於テ取決メマシテ、之ヲ追加ト致シマシテ改正案ヲ制定ヲ致スコトニ相成ツタノデアリマス、而シテ此金額ガ法案公布ノ日カラ施行サレマスル、其以前ニ歸屬シタ場合ガゴザイマスト致シマスルト、ソレハ矢張り此法案ノ趣旨ニ依リマシテ、改正法ノ規定ノ通り矢張り賠償金特別會計ノ中ヘ歸屬サセナケレバナラスノデゴザイマス、ソレヲ此附則ニ設ケマシタノデ、既ニ其趣旨ハ先程本案提出ノ際ニ政府委員カラ申述ベラレマシタ所デ、極メテ明瞭デアルト存ジマスル、本案ニ付キマシテハ色々質問モゴザイマシタ、箇條デ申上ゲマススト云フト、賠償金特別會計法第三條ノ交付金ト云フノハ何デアルカ、或ハ山東鐵道ノ價格ガドウデアラウカ、管理ガ如何様ニ相成ツテ居ルカト云フヤウナ意味ノ質問ガゴザイマシタガ、此本案ニ付キマシテ精シク申上ゲル程ノ必要モナイト存ジマスルノデ、ソレハ省略ヲ致シマス、次ニ對支文化事業特別會計法案ニ付キマシテ審査ノ模様ヲ申上ゲマスガ、是ハ新ニ設ケラレマシタ法律デゴザイマス、既ニ此趣意モ外務大臣ヨリ提案ノ際ニ説明ガゴザイマシタ所デ明カデアリマスルカラ、之ヲ長ク申上ゲル必要ハナイト存ジマス、唯委員會ニ於テ應答ニ依リマシテ明カニナリマシタ事實ヲ茲ニ申上ゲテ、御參考ニ供シタイト思ヒマス、對支文化事業特別會計法ニ於キマシテ、本會計法ニ歸屬サセル金ハ四種類程ゴザイマス、第一ハ所謂義和團事件ノ賠償トシテ支那カラ我國ヘ拂ハレベキ證券デゴザイマス、是ハ總額ニ於キマシテ一億七百萬圓ゴザイマシテ、既ニ三千五百萬圓程ハ支拂ハレテ居ルノデゴザイマス、大正六年ニ支那ガ歐羅巴大戰ニ參加イタシマスルニ付キマシテ暫ク支拂ノ停止ヲ求メラレマシタ、列國ガ之ニ同意ヲ致シマシタ結果、滿五箇年間此金ハ支拂ハレナカッタノデアリマス、而シテ昨年ノ十二月カラ再ビ毎月從前ノヤウニ拂ハレルコトニ相成リマシタ、即チ今後一億七百萬圓ノ内三千五百萬圓ヲ支拂ハレマシタ殘額ノ七千二百萬圓ト云フモノハ、豫定通りニ今後大正三十四年マデノ間ニ分割シテ支拂ハレル譯デゴザイマス、即チ第一ニ對支文化事業特別會計ニ歸屬スベ

キモノハ此金デアリマス、其第二ニ此會計ニ歸屬イタシマスル金ハ、矢張り山東條約ニ關係シタモノデゴザイマシテ、公有財産竝ニ製鹽業、鹽ヲ拵ヘル業……製鹽業者ニ對シマシテ賠償ヲ致シマスル金デアリマス、即チソレハ合計ヲ致シマススト云フト、一千四百萬圓ニ相成リマス、其内、豫定デゴザイマスガ、製鹽業者ニ支拂フベキモノガ八百七十萬圓程ゴザイマシテ、ソレヲ差引キマシタ殘額五百三十萬圓ト云フモノガ此對支文化事業特別會計ニ歸屬スベキモノトシテ、茲ニ定メテアルノデアリマス、是ハ第二デゴザイマス、第三ニハ先程申述ベマシタ山東鐵道ニ關スル國庫補償ト致シマシテ本邦ニ引渡スベキ國庫證券デアリマス、是ハ總額ニ於キマシテ四千萬圓デゴザイマシテ、其内二千五百五十萬圓、是ハ先程御報告ヲ申上ゲマシタ賠償金特別會計法ノ中ニ定メタル條項ニ依ツテ、其會計ニ歸屬スベキモノトシテ決定ヲ致シマシタモノデゴザイマス、其殘額ノ一千四百五十萬圓ガ即チ對支文化事業特別會計ニ歸屬スベキモノデゴザイマス、其次ニモウ一ツ此會計ニ歸屬スベシト定メラレタモノガゴザイマシタ、即チ是ハ山東ノ鑛山ニ依リ……鑛山ニ關係ヲ致シテ居ルモノデアリマシテ、即チ條約ニ依ツテ山東ノ鑛山ニ關スル會社ガ設立サレマシタ場合ニハ、其會社ヨリ我國ニ對シテ五百萬圓ヲ支拂フベキ筈ニナツテ居リマス、而シテ此五百萬圓ノ内二百六十七萬圓ト云フモノハ先程申上ゲマシタ賠償金特別會計法ノ規定ニ依リマシテ、其方ヘ歸屬スベシト定メラレタモノデゴザイマスノデ、其殘額ノ二百三十三萬圓ト云フモノガ、對支文化事業會計ノ中ニ歸屬スル譯ニ定メタノデゴザイマス、デ先ヅ此四種類ノ證券及ビ資金ガ基礎ニ相成リマシテ其證券ノ償還元利金、資金ノ運用利息金等ガ本會計ノ收入トナルノデゴザイマス、其外ニ寄附金ト雜收入ガゴザイマス、寄附金ハ目的ヲ指定シテ寄附ヲ致シマスモノ、又指定ヲセズシテ寄附ヲ致シマスモノト二ツゴザイマスガ、併セテ是ハ本會計ノ歲入トスルノデゴザイマス、而シテ此本會計ニ於キマシテ歲入歲出ヲ定メマス場合ニハ、總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出シテ協賛ヲ受クル筈ニナツテ居リマス、從ヒマシテ或ル場合ニハ緊急ヲ要スル支出等ハ、寄附ガゴザイマシテモ其目的ニ適フヤウニ處分ヲスルコトガ出來ナイ場合モゴザイマス、之ニ付キマシテハ質問應答ノ際ニ、政府ニ於キマシテモ勅令ヲ出シテ豫算外歲入歲出トシテ取扱ヒマシテ不都合ノナイヤウニシタイ、斯ウ云フ考ヲ有ツテ居ルコトヲ明カニ致シマシタ、本會計ニ依ツテ經費ヲ支辨イタシマシテ施設ヲ致シマスル事業ハ第五條ニ明カデ

ゴザイマス、是ハ一々申上ゲマセヌ、唯此第五條ニハ衆議院ニ於キマシテ修正ガゴザイマシタ、即チ第一號ニ「支那國ニ於テ行フヘキ教育、學藝、衛生及救恤ニ關スル事業」トアリマスル原案ニ、此「救恤」ノ下ニ修正ヲ加ヘマシテ「其ノ他文化ノ助長ニ必要ナル事業」ト云フ數字ヲ加ヘタノデアリマス、是ハ政府ニ於キマシテモ同意ヲ表シタコトデゴザイマシテ、其事柄ハ寄宿舎ヲ設ケル……學生ノ爲ニ寄宿舎ヲ設ケル、若クハ社交俱樂部ヲ設ケルト云フコトデ、其事ガ既ニ現在ニ於テ實際ニ必要デアルニ拘ラズ原案ノヤウナ文字デアリマス、ドノ項目ニ這入ルカ明カデナイト云フノデ、其衆議院ニ於テ修正ヲ致シタノデゴザイマスガ、ソレニ付キマシテハ政府モ同意デゴザイマスト云フコトヲ明カニ致シマシタ、ソレカラ此支出ヲ致シマスル金額ハ、毎年度二百五十萬圓ニ制限ヲシテゴザイマス、之ニ付キマシテ質問ガゴザイマシタガ、政府ノ説明ニ依リマスルト、二百五十萬圓ト定メマシタノハ、此事業ノ經營ハ時ニ依ッテ非常ナル相違ノナイヤウニ致シタイ、平均シテ此金額ガ支出ガ出來ルヤウニ目途ヲ定メ、サウシテ事業經營ヲ致スコトガ平均ヲ得ルヤウニ致シタイト云フ趣旨デアルサウデゴザイマス、約此目的デ支出イタシマスルコトノ出來ル金額ハ四百五十萬圓ホドアルノダサウデアリマス、此四百五十萬圓ノ内先ヅ二百五十萬圓ヲ事業ニ支出イタシマスルト、二百萬圓ノ殘餘ヲ生ジ、先ヅ是ハ二十年積立テ置クト致シマス、四千萬圓ノ資金ガソコニ積立テラレル譯デアリマス、此四千萬圓ニ五分ノ利息ガ付キマシテ二百萬圓ノソコヘ金ガ生レルノデアリマス、即チ平均シマシテ二百五十萬圓ノ支出ガ出來ルト云フコトニ豫想シテ居リマス、ソレデ之ヲ約二百五十萬圓ト定メテ趣デアリマス、ソレカラ此資金ニ付キマシテハ、團匪賠償金ハ既ニ昨年ノ十二月カラ支拂ハレテ居ルノデアリマス、今日マデ約八十八萬圓ホド政府ニ支拂ハレテ居リマス、此金ハ若シ此法律ガ通過イタシマシタ場合ニハ、當然此會計ニ歸屬サレルベキモノデアルト云フノデ、之ニ關スル附則ガ設ケラレテ居リマス、尙ホ他ニ此法律施行前ニ支拂ハレタ證券等ガアルト致シマスレバ、之ヲ本會計ニ歸屬サセル、丁度賠償金特別會計法中改正法律案ニ付テ申述ベマシタト同ジヤウナ趣旨ノ一項ガ、此附則トシテ附加ヘラレテ居ルノデゴザイマス、其外對支文化事業特別會計ニ付キマシテハ、二三ノ質問ガゴザイマシタ、其一ツ二ツヲ御紹介ヲ申上グルコトガ必要デアラウト思ヒマス、第一ニ此文化事業ヲ實施スルニ付キマシテ、第一條ノ資金ノ……第二

條ニ歸屬スル證券ニ、其根據ヲ示シテ三項アルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、義和團事件ノ賠償金ヲ、此目的ニ使用スルコトハ當然デアルト思ハレルケレドモ、山東鐵道若クハ山東鑛山ニ關スル資金ヲ、茲ニ編入スルノハ如何デアラウカト云フ意見ガアリマシタ、之ニ對シマシテ政府ノ答辯イタシタ所デハ、此金ハ多ク益辨ズル譯デアアル、山東事件ノ解決ニ依テ、我國ニ支拂ハセマシタ所ノ資金ヲ、此文化事業ノ目的ニ使用スルコトハ、誠ニ穩當ノコトト考ヘルノデアリマス、又金ハ成ルベク多イコトヲ希望イタシマス、ソレニ依テ獨リ文化事業ノミナラズ政治上ニ付テモ好影響ヲ及ボスコトデアアルカラシテ、此金ヲ此會計ニ歸屬セシムルト云フコトガ、至當デアルト思フト云フ説明デゴザイマシタ、ソレカラ其次ニハ此文化事業ヲ經營イタシマスコトハ結構デアアルケレドモ、支那ノ側ニ於キマシテ、此事業ニ對シテ、ソレダケニ感受シテ呉レルカ、否ヤト云フ問題ガアルガ、ソレニ對スル政府ノ見解ハドウデアアルカト云ウ、斯フ云フ質問モゴザイマシタ、ソレニ對シテ政府委員ガ、最近ニ於テ此法律案ガ帝國議會ニ提出ヲ致サレマシタ以後、支那國ニ於テ、竝ニ我國ニ居ル支那國民ニ於テハ、非常ニ喜ンデ居ルト云フ事實ヲ確メタ例ヲ舉ゲマシテ、説明ガゴザイマシタガ、其他先程申上ゲマシタ質問ガ種々ゴザイマシテ、本案ノ審查ヲ結了イタシタノデゴザイマス、即チ唯今申述ベマシタ通り、賠償金特別會計法中改正法律案、竝ニ對支文化事業特別會計法案ハ、質問ヲ終リマシテ討論ニ入り、採決ヲ致シマシタ所、出席委員滿場一致ヲ以チマシテ可決イタシタノデゴザイマス、其際ニ二ツノ希望ガ此可決ト共ニ決議サレマシタ、即チ第一ハ政府ハ對支文化事業特別會計法ヲ制定シテ支那ニ對シテ文化事業ヲ施設スルコトデアアル、其趣旨ハ日支親善ヲ熱望スル誠意ニ出デタルモノニ外ナラヌノデアアル、政府ハ宜シク此法律ヲ制定シ、文化事業ヲ施設スルニ付テ、我國ノ誠意ヲ支那ノ政府、竝ニ國民ニ諒解イタサセルコトニ努メテ貰ヒタイ、是ガ第一ノ希望デゴザイマス、第二ハ此特別會計法ヲ設ケテ文化事業ヲ施設スルニ付キマシテハ、種々ナル事項ガアリマス、其實施ニ際シマシテ嚴シク濫費ヲ慎マレナイト、徒ラニ弊害ヲ生ズルバカリデアアル、折角此法律ヲ設ケ、文化事業ヲ施設スルノ目的ヲ失フ譯デアリマスカラ、宜シク立法ノ精神ヲ沒却シナイヤウニ、政府ニ於テ慎重ナル注意ヲ用ヒラレムコトヲ望ム、斯様ナ意味ノ二ツノ事項ニ付テ希望決議ガゴザイマシタ、是デ以テ委員會ヲ閉鎖スルニ至ッタノデゴザイマス、序ニ申上

ゲテ置キマスガ、御手許ニ差上ゲテアルトコロノ、對支文化事業特別會計法
ノ一番終リノ、附則ノ末項ニ、「本法施行前第二條」云々トゴザイマス、其初
メニアリマス「本法施行前」トアルノハ、是ハ誤リデアリマス、削ッテ置クベ
キモノヲ印刷ノ誤リデ茲ニ揭ゲタト云フコトデアリマス、之ヲ併セテ御報告
ヲ致シテ置キマス、唯今申上ゲマシタヤウナ趣旨デ、本案ハ可決イタシマシ
タノデゴザイマス、此法律ノ趣旨ハ、誠ニ今日ノ措置ト致シマシテ、適當ノ
モノデアルト認メタノデゴザイマス、委員會ノ決定通り可決アラムコトヲ希
望イタシマス

○矢口長右衛門君 私ハ日程第四、對支文化事業ノ案ニ付キマシテ、本案ハ頗
ル緊要ノ問題デアリマシテ、先刻豫算委員會ニ於キマシテモ、此問題ト聯關
シテ頗ル深切ナル質疑ガゴザイマシタ、我々議員トシテハ、十分ニ之ヲ研究
シ十分ニ會得シテ、之ガ可否ヲ決スルニモ、此自分ノ十分ニ疑問ヲ解イテ贊
成シタイト思フノデアリマス、先刻委員長ノ報告ニ依リマシテ、歳入トナル
ベキモノノ項目ハ大體分リマシタ、而シテ歳出ニ付キマシテ、第五條ニ明記
シテアル此三箇條ニアリマス點トモ、其大體ニ於テ是ハドレ位ノ額ガ支出サ
レルノデアルカ、大體デ宜シウゴザイマスカラ、御分リニナッテ居リマスカ
ラバ、御説明ヲ願ヒマス

〔内田嘉吉君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 内田君、今ノハ外務大臣ニ對スル質疑ト存ジテ居
リマス

〔國務大臣伯爵内田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵内田康哉君) 矢口君ノ御質問ハ、第五條ニ記載イタシマシ
タ事柄ニ對シテ、毎年大凡ソ幾何ノ金ヲ支出スルカト云フ御質問ト聽取リマ
シタガ、若シ其意味ノ御質問デアリマスレバ、年ニ約二百五十萬圓ヲ程度ト
シテ出スコトニナッテ居リマス、即チ今年ノ豫算ニ於キマシテハ、最モ緊急
ヲ要スルモノダケニ支出スルコトニナッテ居リマスカラ、此額ハ百何十萬デ
アリマシタカ、明確ナコトハ知リマセヌガ、毎年今後費ス所ノ額ヨリモ少ナ
イノデアリマス、今後ノ額、即チ大正十三年度ヨリハ、約二百五十萬圓ヲ程
度トシテ支出スル積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイ

○矢口長右衛門君 此大正十二年度ノ一般會計參考書ヲ見マスルト、東亞同
文會ニ十三萬二千九百六十圓、ソレカラ同仁會ノ補助ガ五萬圓ト云フコトガ

ゴザイマスルガ、是ハ此中ニ包容スルモノデゴザイマルカ、或ハサウデナイ
ノデゴザイマスカ、私ハサウデナイト思ッテ居リマスガ、チヨットドウゾ……

〔國務大臣伯爵内田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵内田康哉君) 大正十二年度ニ於キマシテハ、唯今申上ゲマ
シタ通りニ緊急已ムヲ得ザルモノノミニ限リマシタカラ、此同文會或ハ同仁
會ニ對スル補助ハ、十二年度ノ本豫算ニ既ニ請求シテアル分ニ止メマシテ、
今般設ケマス所ノ特別會計資金ノ中ヨリハ支給シナイコトニナッテ居リマス
○矢口長右衛門君 然ラバ十三年度ニ於キマシテハ、此兩項ハ如何イタシマ
スカ、ソレヲ豫メ伺ッテ置キタイ、十三年度以降ハ是ハ支給イタスノデゴザイマ
スカ、是ギリニナルノデアリマスカ、重ネテ伺ヒマス

〔國務大臣伯爵内田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵内田康哉君) 十三年度ヨリハ此特別會計資金ノ中ヨリ、同
文會若クハ同仁會等ニモ振向ケル積リデアリマス

○伯爵兒玉秀雄君 委員長ニ質問ヲ……簡單デゴザイマスカラ此席カラ……
唯今御報告ヲ承ハリマシタガ、委員會ノ質疑應答ノ中ニデス、政府ハ差當リ
ドウ云フ仕事ニ先ヅ第一ニ手ヲ著ケヤウト云フ考ガアルカト云フコトニ付テ
ノ、何カ質問ガゴザイマシタデゴザイマセウカ、ソレガ第一點、第二點ニ於
キマシテハ、團匪事件ノ賠償金ハデス、從來多少ノ行掛リガアルヤウニ承
ハッテ居ルノデゴザイマスカ、其金ヲデス、此特別會計ニ繰入レテ、支那文
化事業ノ資金トシテ充テルコトニ付キマシテ、何等カ質疑應答ガアリマシ
タカ、アリマシタナラバ其内容ヲ承ハリタイ

○内田嘉吉君 唯今兒玉伯爵ヨリ御質問デアリマス第一ノ、差掛リ如何ナル
事業ヲ營ムノデアアルカト云フ御質問ニ對シマシテハ、豫算ニ明記シテゴザイマ
ス、即チ過般可決ニナリマシタ大正十二年度ノ豫算ニ明記シテゴザイマシ
テ、約百四十九萬八千圓ノ支出ヲスル趣旨デアアルサウデアリマス、即チ支那
留學生ノ給費、關東學校病院ノ補助、講演及ビ視察費、救恤費其他デゴザイ
マシテ、合計百四十九萬圓ト承ハッタノデゴザイマス、第二ニハ義和團事件ノ
賠償金ヲ此會計ニ支出サセルニ付キマシテハ、先程モ申上ゲマシタ通り委員
ノ中ニハ別ニ疑義ヲ挾ンデ居ッタ者ハ無カッタノデアリマス、寧ろ是ハ當然ニ
入レタラ宜カラウト云フ考ヲ持ッテ居ッタヤウニ見受ケタノデアリマス、特ニ
事情ガゴザイマスカヤハ、私カラ御答ハ出來マセヌ、チヨット序ナガラ先

程私ハ衆議院ノ此法案ニ對スル修正ノ條文ヲ持ッテ居リマセヌノデ、誤ッテ御報告イタシマシタカラ、序ヲ以テ訂正イタシテ置キマス、ソレハ第五條ノ第一項ニ「救恤」ト云フ文字ノ下ニ、其ノ他文化ノ助長ニ關スル事業……其ノ他文化ノ助長」ト云フ數字ヲ差加ヘタノデアリマス、ソレダケノ遺漏ヲ補ッテ置キマス

○伯爵兒玉秀雄君 外務大臣ニ御質問申上ゲタイト思ヒマス、唯今内田君ノ御説明ニ依リマス、私ノ質問イタシタル事情ガ明瞭デゴザイマセヌノデ、外務大臣ノ御答辯ヲ望ムノデゴザイマス、團匪事件ノ賠償金ニ付キマシテデス、從來此問題ニ付テハ色々ノ經緯ガアルヤウニ承知シテ居ルノデアリマス、今之ヲ特別會計ノ中ニ其資金ヲ入レテデス、支那文化事業ノ爲ニ充テルト云フコトニ付キマシテ、支那政府ニ於テ却テ之ガ誤解ノ原因トナルヤウナ事情ハアリマセヌデゴザイマセウカ、折角此目的ガデス、非常ニ立派ナ目的ヲ以テ計畫サレタ所ノ本事業ニ付テ、却テ誤解ノ原因ニナリマシヤウナ事情ガ存在イタシマスコトハ、甚ダ私ハ遺憾ニ存ジマスノデアリマス、此點ニ付キマシテ事情ヲ明白ニ致シテ置キマシテ、日支親善ノ爲ニ十分ナル效果ヲ發揮セシメタイト私ハ考ヘテ居リマスガ故ニ、若シモ此席ニ於テ御話ガ出來ル事情ガゴザイマスルナラバ、此際承ハッテ置クト賛成或ハ……賛否ヲ決シマス上ニ於テ、頗ル便宜ト考ヘルノデアリマス

〔國務大臣伯爵内田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵内田康哉君) 兒玉伯爵ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、唯今マデ得テ居リマス情報ニ依リマスレバ、支那側ニ於テ今回我國ニ於テ此特別資金ヲ設ケタコトニ對シテハ、反對ガ有ラザルノミナラズ、又誤解ガ有ラザルノミナラズ、寧ロ之ヲ歡迎シテ居ルヤウナ報道ニ接シテ居リマス、固ヨリ此法案ガ愈々決定サレマシタ曉ニ於テハ、表向支那側ニ對シテ諒解ヲ求メル積リデアリマスガ、是マデモ非公式ニ當地ニ於キマシテモ、又北京ニ於キマシテモ、斯ウ云フ内議ガアルト云フコトハ、支那ノ當局者ニ於テモ承知シテ居ルノデアリマス、寧ロ之ヲ歡迎シテ居ルト云フ内報ニ是マデ接シテ居リマスカラ、兒玉伯爵ノ御心配ニナルヤウナ點ハ、萬無イコトト信ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵柳岡隆督君 兩案ノ第二讀會ヲ直チニ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○子爵池田政時君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵柳岡隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵池田政時君 賛成

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵藤村義朗君 私ハ此際、日程變更ノ動議ヲ提出イタシタイト存ジマス、行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關スル公債發行ニ關スル法律案、此法律案ガ先程議場ニ報告ニナリマシタ通りニ、本日特別委員會ニ於テ議了サレマシタ、本案ハ唯今豫算委員會ニ於テ審議中ノ、追加豫算ニ關係ガゴザイマスノデ、此際日程ヲ變更イタシマシテ、本案ヲ上程御報告申上ゲタイト思ヒマス

○男爵二條正麿君 賛成

○男爵赤松範一君 賛成

○男爵辻太郎君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 唯今ノ藤村男爵ノ日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關スル公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、副委員長藤村男爵ノ登壇ヲ望ミマス

行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關スル公債發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十五日

右特別委員副委員長

男爵藤村 義朗

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵藤村義朗君演壇ニ登ル〕

○男爵藤村義朗君 本案ハ、今回ノ行政整理又ハ軍備ノ制限若クハ整理ニ際シマシテ職ヲ離レタ者、或ハ死亡シタ者ニ、特別賜金又ハ手當トシテ交付スル爲ニ、五千二百萬圓ヲ限リ公債發行ヲ致シタイト云フ案デアリマス、政府ノ説明ニ依リマスレバ、今回ノ整理ニ依リマシテ、退職賜金トシテ支給スベキ總額ガ六千四百四十四萬九千圓アルノデアリマス、其中現金ヲ以テ交付スベキ約四箇月分ノ高、合計千九百四十五萬二千圓ヲ差引マシタ約四千五百萬圓ヲ公債ヲ以テ交付シタイト、其公債ニテ交付スル理由ハ、受取ル者ト致シマシテモ浪費等ノナイ爲ニ、又財政上ノ都合モアルト云フ故ニ、公債ヲ發行イタシテ之ヲ直接交付シタイト云フノデアリマス、四千五百萬圓ノ交付額ニ對シマシテ五千二百萬圓ヲ發行イタシマスル理由ハ、公債ハ時價ヲ斟酌イタシテ發行價格ヲ定メル、而シテ二月中ノ公債ノ平均價格ガ八十七圓デアアルカラ、此金高デ換算ヲ致シテ、五千二百萬圓ノ限度ニ於テ發行ノ權限ヲ得タイト云フコトデアリマス、質問ニ入リマシテ、退職賜金ヲ受ケル人員、整理制限ノ期間等ニ付テ種々御質問ガアリマシタ、人員ニ付キマシテハ政府ノ説明ニ依リマ

スルト云フト行政整理ノ爲ニ減ル所ノ人間ノ數ガ二萬二千九百四十六人、ソレカラ軍縮制限又ハ整理ノ爲メニ減少シマス人數ガ三萬八千七百九十四人、總計六萬一千七百四十人ト云フコトニナツテ居リマス、又整理及ビ軍備制限ノ期間ハドウデアアルカト申シマス、文官ニ於キマシテハ國勢院廢止ノ時、即チ昨年十月十五日ヲ劃シテ實行ノ時期ニ入ッテ、本年度内ニ終了シテ仕舞ヒタイ、ソレカラ武官ノ方ハ、海軍ニ於テハ昨年ノ八月五日ニ御批准ガアリマシタ、其日ヲ以テ實行期ニ入ル、陸軍ニ於テハ帝國政府ノ計畫ニ依リマシテ、八月十五日ヲ以テ整理ノ實行期ニ入ル、何レモ十二年度末ヲ以テ終ルト云フコトニナツテ居リマス、其委員ノ一人ヨリ、各省ニ於テ給與シマスル賞與ノコトニ付テ質問ガゴザイマシタ、ソレハ從來ノ各省ニ於テ給與イタシマスル賞與ハ、豫算ノ範圍内ニ於テ各省デ適宜ニ之ヲ給與スルト云フコトニナツテ居ル、從テ豫算殘額ノ多少ニ依テ、給與額ガ各省間ニ大分色々ノ差等ガアリマスルノデ、甚ダハ不公平ノ嫌ガアツテ其當ヲ得ナイ、因テ將來ハ何等カ適當ノ制度ヲ定メテ、公平ヲ期スル必要ガアリハシナイカト云フヤウナ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府ニ於キマシテハ、政府ニ於テモ此事ニ付テハ將來何トカ改正ヲ加ヘナケレバナラナイト云フヤウナコトニ考ヘテ居ラレル、財政上及ビ豫算上ノ關係カラ致シマシテ、出來ルダケ不權衡ノナイヤウニシタイト思フ、ソレニ付テハ近キ將來ニ於テ、何トカ適當ナル制度ヲ作ルナリ、或ハ改善方法ナリヲ講ズルコトニ致シタイト云フ答辯デアリマシタ、其外二三件ニ付テ質疑應答ガゴザイマシタガ、討論ニ入リマシテカラ、委員ノ意見トシマシテハ、退職賜金ヲ現金デ與ヘルガ宜イカ、或ハ公債デ與ヘルガ宜イカト云フコトモ一ツノ問題デアアル、併シハ無論公債デ與ヘタガ宜イト思フ、又公債ヲ與ヘルニハ公債ヲ發行シナケレバナラナイノデアアルガ、サウスルト云フト財界ニ影響ヲ及ボシハスマイカ、之ヲ考ヘテ見マスルニ、今度ノ公債ハ公債ヲ募集スルノデハナイ、即チ公債ヲ五千二百萬圓ヲ限度トシテ發行シテ、サウシテ之ヲ給與スルノデアアルカラ、別ニ差當リ財界ニ是ト云フ影響ハナカラウト思フ、ト云フヤウナ趣旨ニ依テ本案ハ可決スベキデアルト云フ御論ガ出マシテ、之ニハ滿場一致デ賛成ニナリマシタ、而シテ結局若シ唯今審議中ノ豫算ガ修正ヲ加ヘラレマシタヤウナ際ニ於テハ、之ニ對シテ此五千二百萬圓ノ限度ヲ減ズル、即チ委員會ハ公債發行ノ權限ヲ政府ニ與ヘルト云フコトトシテ、滿場一致ヲ以テ可決シタ次第デゴザイマス、右御報告申上ケ

マス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセス
カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵樺筈隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ關イテ御異存ゴザイマセ
スカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴ
ザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵樺筈隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ
スカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第五、大正九年度歳入歳出總決算、大正九年
度各特別會計歳入歳出決算報告、會議、委員長報告

大正九年度歳入歳出總決算並大正九年度各特別會計歳入歳出決算及既往年
度検査未確定金額ノ検査確定シタルモノヲ審査スルニ

第一

大正九年度歳入歳出總決算歳出經常部陸軍省所管第二款軍事費第八項
糧秣費中關東軍經理部ノ支出ニ係ル件、第十二項演習費中陸軍東京經
理部ノ支出ニ係ル件

大正九年度歳入歳出總決算歳出臨時部陸軍省所管第三十六款災害費第
一項輜重兵第一大隊本部其他火災復舊費中朝鮮軍經理部ノ支出ニ係ル
件、第七項朝鮮軍各部隊水害復舊費中朝鮮經理部ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歳入歳出決算農商務省所管製鐵所歳出第一款製
鐵所作業費第二項事業費中製鐵所ノ支出ニ係ル件
官金中遞信省所管貯金局ニ於テ簡易生命保險積立金中ヨリ貸付ヲ爲シ
タル件

右ハ政府ノ措置穩當ヲ關クモノト認ム

第二

大正九年度歳入歳出總決算歳入經常部第一款租稅第二項所得稅中西稅
務署、神田橋稅務署、米澤稅務署ノ徵收ニ係ルモノ三件、福岡稅務署
ニ於テ收入濟額ニ編入セサリシ件、永代橋稅務署、神田橋稅務署、西
稅務署、西宮稅務署、品川稅務署、彦根稅務署、堺稅務署、富岡稅務
署、西宮稅務署、永代橋稅務署、神田橋稅務署、横濱稅務署、小樽稅
務署、上川稅務署、水道橋稅務署、盛岡稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ
十六件、神田橋稅務署、西稅務署、永代橋稅務署、葛城稅務署、仙臺
稅務署、茨木稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ六件、第三項營業稅中京橋稅
務署ノ徵收ニ係ル件、西稅務署、京橋稅務署、京橋稅務署、京橋稅務
署、東稅務署、京橋稅務署、永代橋稅務署、東稅務署ノ徵收不足ニ係
ルモノ八件、横濱稅務署、京橋稅務署、神戶稅務署、仙臺稅務署、三
國稅務署、北稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ六件、第六項礦業稅中福岡稅
務署ニ於テ收入濟額ニ編入セサリシ件、第二款印紙收入第一項印紙收
入中村上區裁判所ニ於テ登錄稅トシテ印紙ヲ以テ納付セシメタル件、
八代區裁判所佐敷出張所ニ於テ登錄稅トシテ印紙ヲ以テ納入セシメタ
ル件、第三款官業及官有財産收入第四項囚徒工錢及製作收入中浦和監
獄ノ徵收ニ係ル件、第四款雜收入第一項免許及手数料中福岡稅務署ニ
於テ收入濟額ニ編入セサリシ件、第五項雜入中福岡稅務署ニ於テ收入

濟額ニ編入セサリシ件

歲入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅中米澤稅務署、伊丹稅務署ノ徵收ニ係ルモノ二件、福岡稅務署ニ於テ收入濟額ニ編入セサリシ件、永代橋稅務署、神田橋稅務署、上川稅務署、西稅務署、伊丹稅務署、龍ヶ崎稅務署、富岡稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ七件、伏見稅務署、神戸稅務署、甘木稅務署、甘木稅務署徵收過ニ係ルモノ四件
大正九年度歲入歲出總決算歲出經常部大藏省所管第六款衆議院第一項議員諸費中衆議院ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歲出總決算歲出經常部陸軍省所管第二款軍費第十五項一年志願兵及幼年學校自費生諸費中陸軍糧秣本廠ノ支出ニ係ル件
大正九年度歲入歲出總決算歲出經常部海軍省所管第二款軍事費第七項造船造兵及修理費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件、第九項患者費中佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件、第十一項艦營費中佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歲出總決算歲出經常部司法省所管第三款監獄第二項廳費及修繕費中巢鴨監獄ノ支出ニ係ル件、第三項雜給及雜費中巢鴨監獄ノ支出ニ係ル件、第四項在監人費中巢鴨監獄ノ支出ニ係ル件、高松監獄ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歲出總決算歲出經常部文部省所管第六款普通教育費第三項普通教育諸費中文部省ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歲出總決算歲出經常部逓信省所管第二款逓信費第二項逓信事業費中熊本逓信局ノ支出ニ係ル件、東京逓信局ノ支出ニ係ル件
大正九年度歲入歲出總決算歲出臨時部外務省所管第五款同仁會事業費補助第一項同仁會事業費補助中外務省ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歲出總決算歲出臨時部內務省所管第二款治水事業費第二項河川費中內務省大阪土木出張所ノ支出ニ係ル件、第三款河川改良費第四項澱川改修工事增補費中內務省大阪土木出張所ノ支出ニ係ル件、第四款港灣改良費第二項鹽釜港修築費中內務省仙臺土木出張所ノ支出ニ係ル件、第七款營繕費第六項輸入獸類檢疫所應急設備費中兵庫縣ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歲出總決算歲出臨時部大藏省所管第二款營繕費第一項

神戸稅關海陸運輸聯絡設備費中大藏大臣官房臨時建築課神戸出張所ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歲出總決算歲出臨時部陸軍省所管第二十款支那駐屯部隊費第一項支那駐屯部隊費中支那駐屯軍司令部ノ支出ニ係ル件、第三十五款在勤加俸其他臨時增給第一項在勤加俸其他臨時增給中支那駐屯軍司令部ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歲出總決算歲出臨時部海軍省所管第七款水陸設備費第一項水陸設備費中吳海軍經理部ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歲出總決算歲出臨時部文部省所管第二款學校創立費第一項第九高等工業學校創立費中橫濱高等工業學校ノ支出ニ係ル件、第三項第十一高等工業學校創立費中文部省ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歲出總決算歲出臨時部農商務省所管第十九款災害費第二項林區署其他風水害復舊費中臨時室素研究所ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歲出總決算歲出臨時部逓信省所管第二款電信電話營繕費第二項電信電話營繕費中熊本逓信局ノ支出ニ係ル件、第五款電信電話交換擴張費第二項事業費中熊本逓信局ノ支出ニ係ル件、臨時電信電話建設局東京出張所ノ支出ニ係ル件、第十三款電信擴張及改良費第二項事業費中臨時電信電話建設局東京出張所ノ支出ニ係ル件、第十九款行賞賜金取扱費第一項行賞賜金取扱費中貯金局ノ支出ニ係ル件、第二十款

大正三年臨時事件費第一項大正三年臨時事件費中熊本逓信局支出ニ係ル件、貯金局支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管造幣局歲出第一款造幣局作業費第三項材料素品費中造幣局ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管專賣局歲出第一款專賣局作業費第二項事業費中名古屋外五專賣支局ノ支出ニ係ルモノ六件、芝、見付兩專賣支局ノ支出ニ係ルモノ二件、第四項專賣品賠償及購買費中福岡專賣支局ノ支出ニ係ル件、第五項專賣品交付金中函館專賣支局ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管國債整理基金歲出第一款國債整理基金支出第一項國債整理基金支出中大藏省ノ支出ニ係ル件
大正九年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管朝鮮總督府歲入經常部

第一款朝鮮歲入第一項租稅中京城府ニ於テ徵收不足ニ係ルモノ三件、歲出經常部第四款警務費第五項衛生及防疫費中忠清北道外十一道ノ支出ニ係ルモノ十二件、歲出臨時部第七款營繕費第五項醫院新營費中咸鏡北道ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管朝鮮醫院及濟生院歲出經常部第一款朝鮮醫院及濟生院第二項事務費中咸鏡北道會寧慈惠醫院ノ支出ニ係ル件、第四項療養及教養諸費中咸鏡北道會寧慈惠醫院ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管臺灣總督府歲入經常部第一款臺灣歲入第二項官業及官有財產收入中臺灣總督府殖產局ノ徵收ニ係ル件、歲出經常部第二款總督府第二項應費及修繕費中臺灣總督府ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管東京砲兵工廠歲出第一款東京砲兵工廠作業費第二項事業費中東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル件、第三項材料素品費中東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管大阪砲兵工廠歲出第一款大阪砲兵工廠作業費第三項材料素品費中大阪砲兵工廠ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歲入歲出決算海軍省所管海軍工廠資金歲出第一款材料物品費第一項材料物品費中佐世保海軍工廠ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歲入歲出決算文部省所管學校及圖書館歲出第一款學校及圖書館第二項校館費中東京外國學校ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歲入歲出決算農商務省所管製鐵所歲入第一款製鐵所作業收入第一項作業收入中製鐵所ニ於テ本項決算額ノ外收入ニ至ラサル件、製鐵所歲出第一款製鐵所作業費第三項材料素品費中製鐵所ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歲入歲出決算鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歲出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費中鐵道省ノ支出ニ係ルモノ三件、第二項改良費中鐵道省ノ支出ニ係ルモノ二件、第二款鐵道用品及工作費第一項用品及工作費中鐵道省ノ支出ニ係ル件、

同上收益勘定歲出第一款鐵道作業費第一項事業費中鐵道省ノ支出ニ係

ルモノ二件、第三項諸拂戻及立替金中鐵道省ノ支出ニ係ル件

官有物中司法省ニ於テ官有物タル東京監獄附屬用地ヲ財團法人監獄協會ニ對シ無償貸付ヲ爲シタル件、關東廳ニ於テ大連市所在官有宅地ヲ隨意契約ニ依リ低價ヲ以テ拂下ケタル件、鐵道省ニ於テ有料ト爲スヘキ官舎ニ對シ名ヲ假官舎ニ藉リ無料ヲ以テ貸付ヲ爲シタル件大正七年度歲入歲出總決算歲入臨時部第十三款戰時利得稅第一項戰時利得稅中京橋稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、神田橋稅務署ノ徵收過ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲入經常部第一款租稅第二項所得稅中西稅務署ノ徵收ニ係ル件、西宮稅務署、神田橋稅務署、福岡稅務署、神田橋稅務署、京橋稅務署、神田橋稅務署、福島稅務署、長濱稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ八件、京橋稅務署、永代橋稅務署、神田橋稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ三件、第三項營業稅中京橋稅務署ノ徵收ニ係ル件、京橋稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、東稅務署ノ徵收過ニ係ル件

同上歲入臨時部第十四款戰時利得稅第一款戰時利得稅中西稅務署ノ徵收ニ係ル件、西宮稅務署、神田橋稅務署、神田橋稅務署、神田橋稅務署、福島稅務署、永代橋、神田橋、東各稅務署、神田橋稅務署、神田橋稅務署、京橋稅務署、永代橋稅務署、永代橋稅務署、鹿沼稅務署、鹿沼稅務署、函館稅務署、室蘭稅務署、神田橋稅務署、住道稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ十九件、神田橋稅務署、永代橋、神田橋、京橋各稅務署、京橋稅務署、橫濱稅務署、橫須賀稅務署、京橋稅務署、永代橋稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ九件

大正八年度歲入歲出總決算歲入經常部大藏省所管第六款衆議院第一款議員諸費中衆議院ノ支出ニ係ル件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管朝鮮總督府歲入經常部第一款朝鮮歲入第一項租稅中京城府ノ徵收不足ニ係ル件、歲入臨時部第一款戰時利得稅第一項戰時利得稅中京城府ノ徵收不足ニ係ル件大正八年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管朝鮮醫院及濟生院歲出經常部第一款朝鮮醫院及濟生院第四項療養及教養諸費中咸鏡北道會寧慈惠醫院ノ支出ニ係ル件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管臺灣總督府歲入經常部

第一款臺灣歲入第二項官業及官有財産收入中臺灣總督府ノ營林局ノ徵收ニ係ル件

右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモノト認ム

第三

其ノ他異議ナシ

右及報告候也

大正十二年三月二十一日

貴族院決算委員長

伯爵奧平 昌恭

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵奧平昌恭君演壇ニ登ル〕

○伯爵奧平昌恭君 是ヨリ大正九年度ノ決算ニ付キマシテ、決算委員會ノ結果ヲ御報告申上ゲマス、大正九年度ノ決算ハ、一般會計ニ於キマシテ、歲入決算額二十億六千五百九十二萬三千三百二十一圓六十九錢七厘、歲出ニ於キマシテハ、決算額十三億五千九百九十七萬八千二百五十五圓四錢一厘デアリマシテ、大正九年度ノ差引歲入剩餘金ハ、六億四千六百七十七萬四千六百六十五錢六厘ト云フモノハ、會計法ノ第二十二條ニ依リマシテ翌年度ノ歲入トナッタノデアリマス、此中ニ歲入ノ二千九百五十二萬百二十四圓四十九錢、ソレカラ歲出ノ四百一萬五千三百七十七圓八十錢七厘ト云フモノハ、會計検査院ノ検査未確定ニナッテ居ルノデアリマス、又特別會計ニ於キマシテハ、其數ガ三十三ニモナッテ居リマス、各項ニ其金額ヲ計上イタシテ居リマスルカラシテ、此所ニハ其金額ニ付テハ之ヲ略サウト思ヒマス、次ニ既往年度、即チ大正七八年度ニ於キマシテ、會計検査院ノ検査未確定金額ノ中デ検査確定イタルモノガ、大正七年度ノ歲入ハ五十二萬七百四十六圓九錢アリマシテ、歲出ハ二十二萬九千五百八十圓二十三錢七厘デアリマス、大正八年度ニ於キマシテハ、歲入ガ五千三百三十萬三千三百七十二圓六十五錢三厘デアッテ、歲出ハ三百二十五萬九千五百七十三圓六十一錢八厘デアリマス、各特別會計ノ分ハ前ニモ申上ゲマシタ通り、其計數ハ此所ニ書イテアリマスカラ、茲ニハ之ヲ略シマス、決算委員會ニ於キマシテハ、此歲出入ノ決算ニ對シテ、政府ノ措置穩當ヲ缺クモノト認メタルモノ六件、政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認メタルモノガ百九十四件、其他ノ部分ニ對シテハ、總テ異議ナシト決シタノ

デアリマス、今少シク政府ノ措置穩當ヲ缺クト認メタルモノニ付テ申上ゲマスレバ、大正九年度歲入歲出總決算、歲出經常部、陸軍省所管、第二款軍事費、第八項糧秣費中、關東軍經理部ノ支出ニ係ル件、同ジク第十二款演習費ニ於キマシテ、陸軍東京經理部ノ支出ニ係ル件デアリマス、前者ハ關東軍經理部ニ於キマシテ、内地部隊補給用馬糧ヲ、三井物産株式會社並ニ株式會社大矢組ヨリ購入スルニ當リマシテ、殆ド豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナシタルノミナラズ、注意周到ヲ缺キマシテ、國庫ニ損失ヲ及ボシタモノデアリマシテ、後者ノ演習費ノ方ハ、陸軍工兵學校ニ於キマスル坑道築城器械等、練習用具ノ購入及ビ製作代價デアッテ、豫算ノ目的外ノ支出ヲナシタモノデアリマス、大正九年度歲入歲出總決算、臨時部、陸軍省所管、第三十六款災害費、第一項輜重兵第一大隊本部其他火災復舊費、朝鮮軍經理部ノ支出ニ係ル件、第七項朝鮮軍各部隊水害復舊費、朝鮮軍經理部ノ支出ニ係ル件デアリマス、前者ハ名ヲ火災ニ藉リマシテ、其實ハ新規計畫ニ基ク倉庫ヲ建設イタシタモノデアリマス、後者ハ豫算ノ剩餘ガアルニ乘ジマシテ、目的外ノ工事ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ大正九年度各特別會計歲入歲出決算、農商務省所管、歲出第一款製鐵所作業費、第二項事業費中製鐵所ノ支出ニ係ル件、ハ鹿町炭礦株式會社ヨリ買収イタシマシタル、長崎縣北松浦郡鹿町外二箇村所在ノ石炭礦區四百六十七萬四千五百五十五坪ノ鑛業權並ニ坑内外諸般設備ノ代金デアリマシテ、其價格ハ二百九十九萬九千九百九十九圓九十九錢ト云フコトニナッテ居リマス、此炭坑カラ採掘イタシマスル石炭ハ、製鐵所ニ於キマシテ骸炭製造原料ノ配合炭トナリ得ベキ特質ヲ有ッテ居ルノデ、同會社ノ常務取締役濱野某ガ、以前製鐵所ニ石炭ヲ納メテ居ッタ關係上、大正八年以來其買上ゲノコトヲ交渉スル所ガアリマシテ、製鐵所ハ大正九年二月之ヲ買收セムト企テラレ、會社所有ノ鑛區外隣接セル田川某等ノ所有ノ鑛區ヲ取纏メテ之ヲ提供セシメムトシテ、買收價格ハ安河内某、及ビ前ニ申シマシタ濱野某ノ有スル資料、並ニ其説明ヲ根據ト致シタルモノデアリマシテ、本件ハ炭坑ノ買收ニ當リマシテ、調査杜撰デ不確實ナル計算ヲ基礎トシ、高價ヲ以テ購入シタルノデアルカラシテ、是ハ措置穩當ヲ缺クト云フコトニナリマシタ、又遞信省所管貯金局ニ於キマシテ、簡易生命保險積立金中ヨリ貸付ヲナシタル件デアリマス、本件ハ貯金局ニ於テ、財團法人東京日用品市場協會ニ對シテ、簡易生命保險積立金ノ中カラ、百萬圓ヲ貸付シタルモノデアリマシテ、市場協會ニ

於キマシテハ、東京市ノ内外ニ小賣市場ヲ増設シテ、日用品ヲ廉價ニ供給セムト企テタモノデアリマス、此小賣市場建設資金トシテ貸付ヲ求メタルモノデアリマシテ、其實際ハ多クハ土地建物ノ購入ヲ致シテ、殊ニ品川土地購入ノ如キハ、一坪五十圓ヲ相當トスルモノヲ、九十圓デ購入シタ如キハ、其一例デアリマス、經營ガ放漫ニ流レテ、債務ノ償還ヲ危クスル狀態ニアリマスル、要スルニ本件ハ簡易生命保險積立金ノ貸付ニ關シテ、適當ノ注意ヲ缺キ、運用其宜シキヲ得ザルモノデアルト云フコトデアリマス、以上述べタルガ如ク、決算委員會ニ於キマシテハ、此六件ハ政府ノ措置穩當ヲ缺クモノト決議イタシタノデアリマス、決算委員會ニ於キマシテハ、個人ノ御希望ハアリマシタケレドモ、委員會トシテノ希望デゴザイマセヌカラ、ソレハ玆ニ御報告スルコトヲ略シマス、且ツ附帶決議等モゴザイマセヌデスカラ、此段モ御報告ヲ申シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 決算委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六、農業倉庫業法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ 參照ノタメ玆ニ載録ス 以下之ニ倣フ〕

農業倉庫業法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正十二年三月二十三日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

農業倉庫業法中改正法律案

農業倉庫業法中左ノ通改正ス

第一條ノ二 本法中穀物又ハ繭トアルハ砂糖ヲ主產物トスル地方ニ在リテハ之ヲ砂糖トス

前項ノ砂糖ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サ

セマス

〔長書記官朗讀〕

農業倉庫業法中改正法律案特別委員

子爵藤波 言忠君 子爵冷泉 爲勇君 子爵六郷 政賢君

男爵安場 末喜君 男爵安藤 直雄君 藤田 四郎君

大村 彦太郎君 津村 紀陵君 高橋 隆一君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第七、人事訴訟手續法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

人事訴訟手續法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正十二年三月二十四日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

人事訴訟手續法中改正法律案

人事訴訟手續法中左ノ通改正ス

第三十條ノ二 私生兒認知ノ訴ハ其相手方トスヘキ者カ死亡シタル後ハ檢事ヲ以テ相手方トス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ身元保證ニ關スル法律案外一件ノ特別委員ニ付託ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第八、國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十四日

右特別委員長

侯爵花山院 親家

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔谷森眞男君演壇ニ登ル〕

○谷森眞男君 唯今問題ニナリマシタル國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案、本日ハ委員長ガ御缺席デゴザイマスカラ、私ヨリ御報告ヲ申シマス、本

案ハ二回委員會ヲ開キマシテ審査ヲ遂ゲマシテゴザイマス、連年衆議院ヨリハ此案ヲ提出ニナツテ居リマスルガ、本院ニ於キマシテハ何時モ之ヲ否決イタシテ居リ、又ハ審査未了ニテ會期ヲ終ツタヤウナ次第デアリマス、此度ハ本案ニ付テ篤ト審査ヲ致シマシテ、政府ニモ交渉イタシ、且ツ色々御質問ヲ致シマシタガ、本案ニ付キマシテハ明治三十二年法律第九十九號ノ發布ニ依リマシテ出願スベキモノハ是マデニ既ニ出願シテ居リマス、其中多クハ處分濟ニナツテ居リマス、此處分ヲ不服トシテ、行政訴訟ヲ起シテ居リマシタモノモ澤山アリマス、ソレモ段々判決ガ濟ンデ居リマスルガ、マダ行政裁判所ニ殘ッテ居リマスルモノハ、マダ現今五十件バカリアルト申スコトデゴザイマス、ソレデ左様ノ次第デゴザイマスカラ、最早此法律ヲ發布スルノ必要ハナイト云フコトヲ認メマシテ、特別委員會ハ全會一致ヲ以テ否決スベキモノナリト決シマシタ次第デゴザイマス、茲ニ御報告ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵徳川家達君) 起立者ナシ、本案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 日程第九、司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、堀田伯爵ノ登壇ヲ望ミマス

司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十三日

右特別委員長

伯爵堀田 正恒

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵堀田正恒君演壇ニ登ル〕

○伯爵堀田正恒君 唯今日程ニ上リマシタ法案ノ特別委員ノ經過竝ニ結果ヲ御報告ヲ申上ゲマス、委員會ハ去ル二十日ニ二十三日兩日開會イタシマシタ、本案ノ内容及ビ本案ニ對シマスル政府ノ所見ニ付キマシテハ、既ニ本議場ニ於ケル御質問應答ニ於テ、御承知ノコトト存ジマスカラ茲ニ省略ヲ致シマス、委員會ニ於ケル質問應答ヲ少シバカリ御紹介申上ゲマス、本案ノ第一項ニ付キマシテ、本案ハ五年間高等試験令ヲ延期シャウト云フ理由ハドウ云フノ

デアルカ、之ニ對シマシテ政府ハ、本案ハ政府ノ提出案デナイカラシテ、其眞意ヲ知ルコトガ出來ナイケレドモ、是ハ多分即チ高等試験令ヲ發布サレル際ニ、直チニ所謂司法受驗者ニ對シテ、高等試験令ヲ實施スレバ、甚ダ氣ノ毒ナル事情デアルカラシテ、五年間延期シタラ宜カラウ、斯ウ云フコトデ本年マデ延期セラレタノデアアル、然ルニ其事情ヲ見ルニ、當時法律學校ニ入學セル所ノ、所謂司法受驗者ハ、希望者ハ、三年ニシテ學校ヲ出テ殘リノ二箇年間ニ辯護士ノ試験ニ及第シナケレバナラヌ、然ルニ其司法受驗生ハ實際二年、二度デハナカナカ及第出來ズニ、多クハ三回、四回、五回、或ハ十回受ケテ初メテ及第シテ居ル事情デアアル、故ニ此際實施ヲスレバ甚ダ氣ノ毒ナ事情デアルカラシテ、マア五年間位ノ程度ニシテ、實施ヲ猶豫シタラバ宜カラウ、又サウシテ贊ヒタイト云フ趣旨デアラウト思フト云フコトデアリマシタ、第二ニ五年猶豫スルナラバ、是デ以テモウ打切ルカト云フ御質問デゴザイマシタ、ソレニ對シマシテ、政府ニ於テハ斷然打切ル積リデアルト云フ御答辯デゴザイマシタ、又第三ノ御質問トシテ、昨年ノ辯護士試験ノ實況ハ、受驗者モ甚ダシク多カッタケレドモ、其及第者ガ又甚ダ多カッタ、世評デモ此試験ノ工合ガ、多少手加減ガアッタノデハナカラウカト思フガ、政府ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フ御質問デゴザイマシタ、之ニ對シマシテ政府ハ、手加減ノアルベキ筈ハナク、又サウ云フ事實ハ斷然ナイト信ズルト云フ答辯デゴザイマシタ、第四ニ、本案ノ第一項デハ辯護士ニ五年間高等試験令ヲ實施ヲ猶豫スルガ、判檢事ニ對シテハドウスル考デアアルカト云フ御質問デゴザイマシタ、之ニ對シマシテハ政府ハ判檢事ニ對シテハ是同ジク矢張り五年間猶豫スル積リデアアル、判檢事ニ對シテハ、法律ヲ以テスルコトヲ要シナイカラ、勅令ヲ以テ五年間猶豫スル積リデアルト云フコトデゴザイマシタ、本案ノ第二項ニ付キマシテ、帝國大學法律學部法律學科卒業生ニ對シテハ、從來永年試補ニ當然ナレル資格ヲ認メテ居ッタノデゴザイマスガ、高等試験令ニ依テ之ヲ認メナイ、即チ官學私學ノ別ヲ認メナイト云フヤウニナッタノデアリマス、デ高等試験令ガ永年官學私學ノ別ヲ認メテ居ッタノヲ、改メテ官學私學ノ別ヲ認メナイコトニナッタノニ拘ラズ、此第二項ニ依テ又再ビ官學私學ノ別ヲ認メルノハ、甚ダ高等試験令ノ趣旨ニ反シハセヌカト云フ御質問デゴザイマシタ、政府當局ハ、御説ノ通りデアアル、併ナガラ本年ノ卒業生ニ對シテハ氣ノ毒ナ感ジガナイデハナイ、第二ニハ、第二項ハ辯護士試験ノ受驗者ハ、此

高等試験令ノ實施ニ依リマシテ、受験資格ヲ失フノデアルケレドモ、大學法學部法律學科卒業生ハ、單ニ資格ヲ失フダケデアルカラシテ、此第二項ハ甚ダ虫ノ好イ案デハナイカト云フ御質問デゴザイマシタ、政府ハ多少虫ノ好イヤウニモ考ヘルケレドモ、偶、大學ノ規則ノ改正ニ依テ、詰リ學年ノ變更ニ依リマシテ、僅カ一箇月ニ依テ資格ヲ失フノハ又氣ノ毒デアル、斯ウ考ヘルト云フコトデゴザイマシタ、又兩項ニ付キマシテ、政府ハ第二項ヨリモ第一項ニ重キヲ置ケレドモ、ソレハドウ云フ譯デアルカ、政府ハ第二項ノ即チ帝國大學法學部法律學科卒業生ニ對シテ、高等試験令ヲ此際實施スルト氣ノ毒デモアルケレドモ、其以上ニ司法受験者ニ對シテハ氣ノ毒ニ感ズルノミナラズ、社會問題トシテモ、即チ司法受験生ハ、辯護士ニナラムガ爲ニ、非常ニ熱心ニ或時ハ運動モシテ居ル、又彼等ノ實況ヲ見テモ甚ダ憐レナ點モアルカラシテ、此際五年間延期シタナラバ、社會上好イ結果ヲ得ハシナイカト思フカラシテ、第一項ノ方ヲ寧ロ重ク考ヘテ居ル次第デアル、斯ウ云フ御答辯ガゴザイマシタ、討論ニ入リマシテカラバ、便宜上懇談ヲ致シマシタ結果、意思疏通イタシマシテ、滿場一致ヲ以テ原案通り確定イタシマシタ、唯茲ニ御報告イタシタイノハ、討論ノ際ニ希望條件トマデハ參リマセヌガ、委員ノ多數ノ方ガ、是非斯ウ云フコトハ委員長報告ノ際ニ述ベテ貰ヒタイト云フ御希望ガゴザイマシタカラ、此點ヲ御報告申上ゲマス、第一ハ昨年ノ辯護士試験ハ寛大ニ、其間手心ガアツタトハ認メナイケレドモ、併ナガラ或人曰ク、世評ニモ何等カ手加減ガアツタヤウニモ思フト云フ點モアルシ、尙ホ先頃通過シタ所ノ辯護士法中改正法律案、所謂辯護士會ガ分レルヤウニナツタ結果、昨年餘リ多クノ及第者ガ出タ爲メ、サウ云フ分離派、非分離派ノ爭議ノヤウナモノガ起ツタノデアルカラシテ、ドウカ今後ハ辯護士試験ヲ十分嚴格ニヤツテ貰ヒタイ、第二ニハ此際五年間延期スルノハ已ムヲ得ナイガ、併ナガラ法制局長官ハ、之ニ對シテ斷然今後五年間ニ復タ延期スルヤウナコトハナイ、是デ斷然打切ルトハ言ハレルケレドモ、法制局長官ハ何時更ハラレルカ知ラナイカラシテ、ドウカ後任ノ長官ニモ十分其意ヲ傳ヘテ貰ヒタイ、斯ウ云フ二點ノ御希望デゴザイマシタ

○議長（公爵徳川家達君） 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○子爵柳筈隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長（公爵徳川家達君） 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○子爵柳筈隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長（公爵徳川家達君） 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス、是ニテ暫時休憩ヲ致シマスガ、本日ハ未ダ重要ノ議事ガゴザイマスカラ、御退院ハ見合セヲ切ニ願ヒマス

午後三時一分休憩

午後四時二十七分開議

○議長（公爵徳川家達君） 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔「長書記官朗讀」〕

本日豫算委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正十一年度歳入歳出總豫算追加案（第二號）、大正十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案（特第一號）、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲

スヲ要スル件(追第一號)、大正十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、大正十二年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、大正十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)、大正十二年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)、大正十二年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)、大正十二年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)可決報告書

本日豫算委員男爵木越安綱君外十九名ヨリ大正十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)大正十一年度各特別會計歳入歳出總豫算追加案(特第一號)及大正十二年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)豫算委員會ノ報告ニ對スル少數者意見ヲ提出セリ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○岡田良平君 過日特別委員ニ御付託ニナリマシタ、東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案ハ、委員會ニ於キマシテ審議ヲ終ヘマシテ、決定ヲ致シタノデゴザイマスガ、是ハ豫算ニ關係ヲ致スモノデゴザイマスカラ、唯今日程ヲ變更セラレマシテ、直チニ上程セラレムコトヲ希望イタシマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○子爵藤谷爲寛君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 岡田良平君ノ議事日程變更ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、岡田良平君ノ登壇ヲ望ミマス

東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十五日

右特別委員長

岡田 良平

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔岡田良平君演壇ニ登ル〕

○岡田良平君 唯今上程セラレマシタル、東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告ニ及ビマス、此法律案ハ既ニ過般政府カラ説明モゴザイマシタル通りニ、東京帝國大學ニ於キマシテ火災ニ罹リマシテ、之ヲ復舊スル爲ニ費用ヲ要スルノデアリマス、其總計九十五萬圓餘デゴザイマス、其内一部ハ帝國大學ノ資金ヨリ之ヲ支出イタシマシテ、殘額六十萬圓ヲ大正十二年度大正十三年度ニ互ッテ政府ヨリ支出イタス法律案デゴザイマス、大學ノ經費ハ御承知ノ通りニ、法律ヲ以テ定額ガ定メテゴザイマスルガ故ニ、定額以上ニ於テ是ダケノ金額ヲ支出スルコトガ、特ニ法律ヲ要スルノデ、即チ此法律案ガ提出ニナッタ所以デゴザイマス、此案ニ付キマシテ委員會ニ於キマシテハ篤ト審議ヲ致シタノデアリマス、原案ニ付キマシテハ、是ハ事情已ムヲ得ヌモノトシテ、異議ハゴザイマセヌノデアリマシタケレドモ、併シ委員ノ中カラ希望ガ出タノデアリマス、其希望ハ文部省各部ニ於キマシテ、近來火災ノ頻々トシテ起ル傾キガアリマシテ、即チ既往一箇年間ニ於キマシテモ、五箇所バカリ可ナリ大ナル所ノ火災ガアッタノデアリマス、是ガ爲ニ少カラヌ國帑ヲ費シマスルノミナラズ、一方ニ於キマシテハ多年苦心ヲシテ集メマシタル所ノ標本、圖書或ハ機械ノ類ヲモ烏有ニ歸セシメテ仕舞フト云フコトデゴザイマシテ、獨リ是ハ財政上ニ於テ顧ミナケレバナラヌノミナラズ、學術ノ進歩ノ上ニ於テモ、少カラヌ打撃ヲ與フルモノデゴザイマスルカラ、文部省ニ於キマシテハ、十分ニ火災豫防ノ施設ヲセラレテ、將來斯ノ如キコトノ頻出イタサヌヤウニ、注意ヲ望ミタイト云フコトデゴザイマス、而シテ火災豫防ノ方法ニ付キマシテハ、無論篤ト研究ヲ要スルコトデハアリマスルケレドモ、兎ニ角斯ノ如ク火災ノ頻出スルト云フコトハ、近來盛ンニ用ヒラレマス所ノ瓦斯デアルトカ、電氣デアリマスルトカ、其他火災ノ虞レノアルモノニ對シテ、其注意ガ十分ニ至ッテ居ラヌノデゴザイマスルカラ、相當ノ規定ヲ設ケテ、一定ノ時期ニ於テ、各學校ニ於テ、是等ノ危險ノアルモノニ付テ十分ノ取締ヲ致シ、十分ノ觀察ヲ致シ、又文部省ト致シマシテモ、之ニ付テ監督ヲ致シマシテ、遺漏ナキヤウニ是等ノ危險物ノ取扱ニ注意ヲ致スヤウニ致シタイ、又其他夜警或ハ宿直等ノコトニ致シマシテモ兎角規則ガアッテ此規則ガ實行セラレヌト云フ虞ガアリマスルカラ、是等

ニ付キマシテハ萬々遺漏ノナイヤウニ、十分ノ御注意ヲ望ミタイ、是等ノ希望ヲ述ベテ原案ニ賛成シタイト云フ意見ガ出タノデアリマス、此點ハ文部大臣ニ望ミマシテ、文部大臣ハ果シテ此希望ヲ容レルルノ誠意アルヤ否ヤ、ト云フコトヲ伺ツタノデアリマス、文部大臣ニ於キマシテモ、誠ニ至當ノ御注意ト考ヘル、將來御希望通り十分ノ規程ヲ設ケ、十分ノ監督視察ヲ怠ラヌヤウニ致シテ、再ビ此災害ノ起ラヌヤウニ努メルデアラウト云フ、斯ウ云フヤウナ御答ヲ得タノデアリマス、是ニ於テ委員會ハ全會一致ヲ以テ本案ノ通過ヲ致シタノデアリマス、ドウゾ本會ニ於キマシテモ皆サンノ御賛成ヲ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵阪谷芳郎君 此際日程ヲ變更セラレテ、所得稅法三案ゴザイマスル、此委員會ノ經過ヲ報告イタシタイト存ジマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 所得稅法中改正法律案、衆第一號、所得稅法中改正法律案、衆第八號、所得稅法中改正法律案、衆第二十號、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、阪谷男爵

所得稅法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十五日

右特別委員長

男爵阪谷 芳郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

所得稅法中改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十五日

右特別委員長

男爵阪谷 芳郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔別冊〕

所得稅法中左ノ通改正ス

第十六條ノ三 自己若ハ家族又ハ其ノ相續人ヲ保險金受取人トスル生命

(小字ハ特別委員ノ修正)

保險契約ノ爲ニ拂込ミタル保險料ハ○年額二百圓ヲ限リ命令ノ定ムル所ニ依リ
控除ス
○本人ノ申請ニ依リ其ノ所得ヨリ之ヲ

附 則
本法ハ大正十三年分所得稅ヨリ之ヲ適用ス

所得稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十五日

右特別委員長

男爵阪谷 芳郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 唯今日程ニ上ボリマシタノハ、衆議院カラ送付ニ係リマ
スル所得稅法ノ改正案ニ三ツゴザイマスル、其三ツノ經過……委員會ノ經過
竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、是ハ簡單ナ案デゴザリマスルガ、甚ダ込入
ッテ居リマス、會期切迫ノ際デゴザイマスデ、要領ヲ申上ゲマシテ、御賛成ヲ
得タイト思ヒマス、第一ハ山林ノ所得ニ付テノ衆議院ノ提出案デゴザイマ
ス、衆議院ヨリノ提出案ノ趣旨ハ、山林ノ所得ハ其竹木ヲ伐採シタトキニ所
得稅ヲ取ッテ貰ヒタイト云フノデアリマス、現行ニ於キマシテハ、山林ノ賣買
ノアリマシタ時ニ稅ヲ課スルコトニナツテ居ル、所ガ山林モ立木ノ儘デ賣買
ノアリマシタ場合ニ、ドレガ立木ノ所得デアルカト云フコトノ區別ガ甚ダム
ヅカシイ、ソレガ爲ニ非常ニ此收稅署ト山林ヲ所有シテ居ル人トノ間ニ紛爭
ガ絶エマセヌ、或ハ之ヲ行政裁判ニ訴ヘルト云フコトニナツテ居リマシテ、甚
ダ此當業者ガ困リマス、ソレガ爲ニ或ハ山林ノ衰頽ヲ來スト云フヤウナコト
ガアツテハナラヌ、此山林ト云フモノハ非常ニ水害ニ對シテモ必要ガアリ、
又立木ハ木材ノ生産ト云フコトニ付テ必要ガアリマスガ大切ナル山林ノ衰頽
ヲ來ス虞ガアルカラ、立木ヲ伐採シタル時ニ稅ヲ取ッテ貰フコトニ改正
シタイト云フノデゴザイマス、委員會ハ是ガ爲ニ二回開キマシテ、色々政府當
局者トモ問答ヲ重ネマシテ、成ルベク此衆議院提出ノ通りニ致シタイト云フ
希望ヲ以テ、委員會デハ討論イタシマシタ、然ル所ガドウモソノ法文トシテ如
何ニ其目的ヲ達スルヤウニシテ宜イカト云フコトガムヅカシイノデ、衆議院

ノ提出案通りデ見マスルト、色々ソコニ缺陷ガ生ジマシテ、矢張り混雜ヲ起
ス、殊ニ個人ト個人トノ間ノ賣買ノ場合ハマダ宜シウゴザイマスガ、法人即
チ會社ガ間ニ挾マリマシタ場合ニ、會社ノ方デハ損益勘定ヲ以テ所得ヲ算ス
ルモノデアルガ、ソコニ非常ナ缺陷ガ生ジマシテ、所得稅ガ合法的ニ行ハ
レルノデ、ソレヲ防ガ爲ニ色々問答ノ末、委員ノ一人カラ修正說ガ出マシ
タ、長ウゴザイマス、衆議院ノ原案ニ但書ヲ付ケタラ宜カラウ
但他ヨリ讓受ケタル立木ヲ伐採スルトキ伐採者カ個人ナル場合ニ於テ前讓
渡人カ法人アルトキ其法人カ讓渡利益ニ付所得稅ヲ納メタルコトヲ證明シ
タルトキニ限り其所得稅ヲ還付シ伐採者カ法人ナル場合ニ於テ前讓渡人カ
個人アルトキハ其個人カ讓渡ニ依リ得タル所得ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之
ヲ法人ノ所得ニ加算シテ其所得稅ヲ計算ス
讓渡ノ時ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ前項但書ノ規定ヲ適用セス

附 則

本法ハ大正十三年分所得稅ヨリ之ヲ適用ス

是ハ誠ニ簡單ナコトデゴザイマスケレドモ、是ダケノ但書ヲ附ケヌト法人ガ
間ニ挾ッタ場合ニドウシテモ、ソコニ合法的脫稅ノ道ガ出來テ困ル、斯ウ云
フノデゴザイマスガ、段々此論議シテ見ルト、此但書デモ未ダ色々疵ガアリマ
ス、詰リドウモ委員會ニ於テ適當ナ修正案ヲ得ナカッタ、ソコデ政府ニ向ッ
テ、如何ニモ今日ノ現行ノ儘デハ山林業者ガ甚ダ困ルノデアル、而シテ會期
切迫ノ今日ニ色々考慮シテ見テモ、ドウモマダ適當ナ成案ヲ得ナイ、依テ最
近ノ議會ニ於テ、政府ガ此衆議院ノ提出ノ趣意ヲ成ルベク貫徹スル意味ニ於
テ修正案ヲ作ッテ、之ヲ議會ニ提出セラレタイト云フ希望ガ出マシテ、其希望
ニ對シテハ政府ニ於テモ、成ルベク其御意見ニ副フヤウニ考慮スルト云フコ
トデゴザイマシタ、ソコデ此衆議院ノ原案ハ、特別委員ニ於テハ全會一致否
決ニナリマシタ、否決ニハナリマシタケレドモ、其趣旨ハ政府ニ於テ成ルベ
ク衆議院ノ提出案ノ目的ニ副フヤウナ案ヲ最近ノ議會ニ提出シテ貰ヒタイ、
サウシテ山林業者ノ苦痛ヲ免レシムルヤウニ致シタイ、斯ウ云フコトデゴザ
イマスカラ、希望ト致シマシテハ、略々達シタ譯デゴザイマスルガ、何分適
當ナ成案ヲ得マセヌガ爲ニ、否決ト云フコトニ決シマシタ次第デアリマス、
次ノ衆議院送付ノ所得稅法中改正案ハ、其第十六條ノ所ニ持ッテ行キマシテ、
保險料ヲ所得ヨリ控除シテ貰ヒタイト云フノガ、衆議院ノ提出案デゴザイマ

ス、デ此事ニ付キマシテハ、此保險料ト云フモノヲ所得カラ控除スルト云フコトハ、如何ニモ尤モナコトデアアル、保險料ト云フモノモ、申スマデモナク自分ノ豫測セザル不幸ノ起ッタ場合ニ於テ、此遺族ガ急ニ困難ニ陥ルト云フコトノナイヤウニ豫防スル爲ノモノデアリマス、又養老保險ニシテモ、自分ガ非常ニ年ヲ取ッタ後ノ爲デアリマス、保險料カラ所得稅ヲ取ルト云フコトハ穩當デアリマス、此所得稅ノ中カラ之ヲ控除スルト云フ衆議院ノ送付案ハ、頗ル適當デアラウト云フノガ委員會ノ議論デアリマシタケレドモ、之ニ付テ又段々政府ノ當局者ノ意見ヲ聞イテ見マスルト、是ニモ種々差支ガアリマスノデ、保險料モ……非常ニ巨額ノ保險金ヲ掛ケラレタ場合ニ於テ、隨分富豪ノ人が保險料ヲ掛ケルト云フモノカラ、ソレヲ所得カラ取ルト云フ必要モアルマイ、又保險ノ種類ニ依テ色々事情ガ異ルト云フヤウナ、種々ナル議論ガアリマシテ、政府ニ於テハ之ニ同意スルコトヲ難ゼラレタノデアリマスガ、色々押問答ノ末デ、ソレナラバ衆議院ノ原案ニ修正ヲ加ヘテ、或制限ヲ設ケタラドウデアラウカト云フコトニナリマシタ、ソレニ對シテモ色々議論ガアリマシタノデアリマスガ、結局委員會ハ多數ヲ以テ其修正ニ決シマシタノデアリマス、然ルニ其修正案ノ中ニ、又二通りノ意見ガ出マシテ、委員ノ一人カラ出マシタノハ、衆議院ノ送付案ヲ斯ノ如クニ修正シタイ

所得稅法中左ノ通改正ス

第十五條中「前項」ヲ「前二項」ニ改メ同條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前條ノ規定ニ依リ算出シタル金額三千圓以下ナルトキハ其ノ所得ヨリ命令ノ定ムル所ニ依リ生命保險ノ保險料拂込額ヲ控除ス

第十六條ノ二中「第十五條第二項」ヲ「第十五條第三項」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

是ハ衆議院ノ案デハ制限ガナイカラ、三千圓以上ノ所得ノアル人ニハ保險料ヲ免除スルノ必要ハアルマイ、三千圓以下デアッタ場合ニ命令ノ定ムル所ニ依ッテ保險料ノ拂込額ヲ控除スル、斯ウ云フ規定ニシタイト云フ希望デアリマシタ、ソレカラ第二ノ修正意見ハ、衆議院ノ原案中ニ修正ヲ加ヘテ

第十六條ノ三 自己若ハ家族又ハ其ノ相續人ヲ保險金受取人トスル生命保險契約ノ爲ニ拂込ミタル保險料ハ年額二百圓ヲ限リ命令ノ定ムル所ニ依リ本人ノ申請ニ依リ其所得ヨリ之ヲ控除ス

附則

本法ハ大正十三年分所得稅ヨリ之ヲ適用ス

是ハ所得額ニハ別ニ制限ヲ置カズニ、誰デモ二百圓マデハ其所得中カラ控除スルト、此二百圓ハ何カラ出タカト云フト、今アル總テノ保險料ヲ平均シテ見ルト、千圓ニ對シテ四十二圓幾ラト云フモノニナリマス、サウスルト云フト、先ヅ千圓ニ付テ五十圓ト云フモノガ、今日ニ於テ全體ノ保險料ノ平均ニナリマスカラ、ソレヲ以テ計算イタシマスルト凡ソ四千圓、四千圓ノ保險金マデハ認メラ宜カラウ、保險料トシテ二百圓、其保險金額トシテ先ヅ四千圓ト云フモノヲ認メテ宜カラウ、之ニハ多少ノ議論モアリマスケレドモ、手續トスルト甚ダ簡單デアリマス、此兩案ニ付テ決ヲ採リマシタガ、第一案ノ方ハ少數デゴザイマシテ、第二案ノ即チ此年額二百圓ヲ限ッテ命令ノ定ムル所ニ依ッテ所得カラ控除スルト云フ、此修正案ノ方ガ成立イタシマシタノデアリマス、是ハ衆議院ノ送付案ヲ修正可決イタシマシタ譯デアリマスカラ、是ハ再ビ衆議院ノ方ヘ送付イタサナケレバナラヌ譯デアリマス、ソレカラ其次ハ是モ衆議院ノ送付ノ所得稅法中ノ改正案デゴザイマスガ、是ハ信託會社ノ引受ケタル金錢信託……是ハ此前既ニ御報告イタシテ置キマシタノデゴザイマスルガ、信託會社ト云フモノガ新ニ信託法ニ依ッテ出來マシテ、其金錢ノ信託ト云フコトニ付キマシテハ、第二種所得トシテ計算スルコトガ猶ホ銀行ノ預金ト同ジャウナ譯ニナルノデゴザイマシテ、ソレニ依ッテ改正案ヲ茲ニ提出ニナリマシタ譯デアリマス、ソレデハ既ニ大藏大臣ニ於テモ衆議院ノ送付案ニ同意ヲスルト云フコトニナッテ居リマシタノデ、委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ衆議院ノ送付案通り可決スベキモノト認メタノデゴザイマス、但シ一ツノ希望ガ出マシタノデアリマス、ソレハ此所得稅法ハ第五十六條ノ二項ニ「信託ノ受託者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ、各信託ニ付計算書ヲ政府ニ提出スヘシ」……即チ信託受託者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ各信託ニ關スル計算書ヲ提出スヘシト云フ規定ガゴザイマシテ、是ガ非常ニ手數ノ掛ルコトデアリマスノデ、ソレデ此度改正ニナリマシタ分ニ付テハ之ヲ除外シテ貫ヒタイ、即チ此度ノ改正法ニ依ル金錢信託ノ分ニ付テハ此前ニ申シマシタ所ノ信託計算書ト云フモノヲ省略スルト云フ、即チソレヲ除外シタイ、斯ウ云フコトニシテ貫ヒタイト云フ希望ガ出マシテ、政府ニ於テハソレニ同意スルト云フコトデアリマシタノデアリマス、右ノ通りニ山林所得ノ方ハ否決ニ

ナリマシタ、ソレカラ保険料ノ所得ノコトハ修正可決ニナリマシタ、ソレカラ信託ニ關スル所得ノコトハ原案ノ通り可決イタシマシタ、ドウゾ委員長報告ノ通り御決定アラムコトヲ望ミマス

〔藤本閣作君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今チヨット御待チテ願ヒマス……阪谷特別委員長ノ報告ハ三案一括サレマシタガ、唯今問題ト致シマスノハ、衆第一號ノ所得税法中改正法律案ノミト御承知ヲ請ヒマス、藤本君ニ伺ヒマスガ、ドノ法案ニ付テ御質疑ヲナサリタイノデアリマスカ

○藤本閣作君 保険料控除ノコトニ付テ……アノ法案ニ付キマシテ……

○議長(公爵徳川家達君) サウスルト衆第八號……

○藤本閣作君 何號カチヨット記憶イタシマセヌガ、アノ法案ニ付キマシテ……

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバソレハ衆第八號デゴザイマスカラ其時ニ御質疑ヲ願ヒタウゴザイマス……本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、本案ハ第二讀會ハ開カザルコトニ決シマシタ

○議長 公爵徳川家達君) 次ハ衆第八號、所得税法中改正法律案ヲ問題ニ供シマス、藤本閣作君ニ發言ヲ許シマス

○藤本閣作君 委員長ニチヨット御尋イタシマスルガ、此法案ハ唯今御説明ニナリマシタル如ク、保険ノ拂込掛金ニ對シテハ所得額カラ控除シテ、詰リソレニ對スル税金ヲ免除スルト云フ趣旨デアリマス、是ハ國民ノ保險思想ヲ發達セシムルト同時ニ、保險會社ヲ保護スル上ニ於テハ誠ニ結構ナコトダラウト思ヒマス、併ナガラ我國ニ於キマシテ此生命保險ニ加入イタシテ居リマシテ、而シテ纏マッタ保険料ヲ拂込ミ得ベキ所謂保險契約高ノ多イ契約ヲシテ居リマスル者ハ、中産以下ノ方々ニハ誠ニ少ナイカト私ハ承知イタシテ居リマス、保險契約高ノ多イ、從テ多額ノ保険料ヲ拂込ム所ノ人ハ、何レモ上流ノ人ニ多イト考ヘマス、而カモ其上流ノ人ハ一家族ニアツテ三人モ四人モ五人モ多額ナル保険ヲ契約セラレテ居ル方ガ随分多カラウト想像イタスノデアリマス、從テ此法案ガ通過イタシマシタナラバ、此上流ノ方々ハ、今二百圓

ト云フコトニ修正ガ出來マシタガ、ソレニ致シマシテモ、二百圓ト致シマシテ、五人ノ契約者ガ一家族デアルト云フコトニナリマス、千圓ノ保險金高ニナリマス、私ガ想像イタシマスノニ、所得金額ハ五萬以上十萬圓内外ノ御方ハ税金ニ致シマシテモ、一割以上ノ税金ニナルダラウト思ヒマス、其割合デ行キマス、千圓ノ所得控除ト云フコトニナリマス、税金ガ百何十圓、二百圓近クノ税金ノ免除ト云フコトノ特典ニ浴スルコトガ出來ルノデアリマス、而カモ此保險料ナルモノハ一度カ、二度掛金ヲ致シマシテ、萬一ノ事ガアリマシタ時分ニハ直チニ約束ノ保險金ヲ受取リマスモノデアリマスカラ、算盤ノ上カラ申シマス、サウ云フ場合ニハ僅ナ掛金ヲシテ一度カ二度カノ掛金デ何千何萬ト云フ現金ヲ受取ルコトガ出來ルノデアリマス、其意味カラ申シマス、謂ハバ保險ノ掛金ト云フモノハ自分ノ利益ヲ圖ル所ノ一ツノ資本デアアル、保險ノ掛金ナルモノハ一個人ニ取ツテハ自分ノ利益ヲ得ル所ノ資本デアアル、ソレデアリマスルカラ私ガ茲ニ疑ガ起リマシタノハ、御承知ヲ通り近來地方ニ於キマシテハ物價ノ騰貴ト共ニ非常ニ經濟ガ逼迫シテ參リマシテ、各市町村トモ制限外ノ課稅ヲ致サナケレバ公共團體ハ立行キガ出來スト云フ所ノ實況ニアルコトハ是ハ周知ノ事實デアリマス、從テ教育トカ、衛生トカ、勸業トカ、其他道路ノ改修、修繕、兎ニ角文化ノ進歩ニ伴ウテ差措キ難イモノガ各地、各團體トモ年々起ツテ來ルノデ、然ルニ經濟ガ困難デアリマシテモ差措カレヌ爲ニ……制限外ノ課稅ハ成ルベクスマイ、普通一般ニヤツテ居ル、然ルニ一方ニハ差措カレヌ所ノ事業ガ刻々起ツテ來ルト云フコトハ各地方トモ中々アリ得ルコトデアリマス、其資金ト致シマシテ已ムヲ得ズ寄附金ト云フ所ノ名義ヲ以テ、所謂寄附金ヲ勸誘ヲ致シテ、而カモ其寄附金ナルモノハ上流ノ人バカリデナシニ、普ク殆ド税金ト同様ノヤウナ性質ノ下ニ募ル場合モアル、是モ時勢上已ムヲ得ヌコトデアリマスルガ、私ノ考ヘマスルニハ、今申シマシタヤウナ地方ノ差措カレヌ所ノ公共事業ノ爲ニ寄附行為ヲスル、其金額ヘ對シテ此今ノ法案ノ如ク所得ノ金額中ヨリ控除シテ然ルベキモノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、先年ノ戰時利得稅ノ際ニハサウ云フ所ノ特典ガアツタ先例モアルノデアリマス、委員會ニ於テハ是等ノ點ニ付テ御考究ハナカッタノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ承リタイ

○男爵阪谷芳郎君 唯今御尋ノ公益上ノ寄附金ヲ控除スルト云フコトノ議論ハ何等出マセヌ、是ハ此法案トハ關係ノナイコトニナツテ居リマス、ソレカラ

控除イタシマス金額ハ二百圓デゴザイマス、千圓ニナルト云フヤウナコトハゴザイマセス

○藤本閣作君 委員長カラ千圓ト仰ッシャイマシタガ、ソレハ私ノ申シマシタ言葉ガ足ラスノデゴザイマス、一人ニ付テ二百圓ト致シマシテ、一家族五人保險契約ヲ致シテ居リマシタナラバ、二五、千圓ト云フコトニナル勘定ト思ッテ申上ゲタノデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ要スルニ公共事業ニ寄附行爲ヲ致シテモ、其金額ヲ控除スルコトハ何等問題ガナカッタ、斯ウ云フ唯今ノ御説明デゴザイマシガ、私ハ甚ダソレヲ遺憾トスルノデアリマス、諺ニモ長者ノ萬燈、貧者ノ一燈ト云フコトガアルノデアリマス、今ヤ地方ハ困難ナ、誠ニ苦シイ立場ニナッテ居リマス、尙ホ殊ニ農村救済ト云フコトノ叫ビハ、衆議院等ニ於キマシテハ、非常ニ熱心ニ終始論議セラレル際ニ當リマシテ、本院ノ諸公モ此長者ノ萬燈、貧者ノ一燈ト云フ所ノ諺ハ一層深ク念慮ト致サレマスコト、私ハ察シテ居リマス、原内閣ノ時代ニ此所得稅法ノ改正ガ先年アリマシタガ、其處ノ御趣旨ハ社會政策ノ上カラト云フコトデ、社會政策ノ重キノ意味ヲ以テアノ改正ガ提案ニナリ、通過セラレタルコトト私ハ記憶ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ折角此保險金ダケヲ控除スルト云フコトノ法案ガ出マシタ其委員會ノ御審議ニ當リマシテ、如何ニモ社會上流者ニ厚イ所ノ關係ノアル保險金ダケヲ控除イタシマシテ、所謂免稅ノ恩典ニ沿セシメテ、中流以下ノ多數國民ハ保險金ニハ比較的關係ガ頗ル薄イ、而カモ一方デハ社會奉仕ノ爲ニ種々寄附金ヲ致シマスガ、地方發達ノ爲ノ寄附行爲ト云フ立派ナ心掛ケノ者、其寄附行爲ニ付テハ委員會ニ於テ何等御審議ガナカッタト云フコトハ、私ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、其處ノ問題ニ上ラスノハ致シ方モアリマセスガ、私ハ此機會デアリマスカラ其事ヲ申上ゲテ終リマシリマス、ソレ故ニ他ノコトニハ論及セラレナカッタ譯デアリマス、又家族ハ何人居リマシテモ二百圓マデガ限リデアリマス、此事ヲ申シテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員會ニ於テ修正セラレマシタニ付キマシテ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔長書記官朗讀〕

所得稅法中改正法律案(衆第八號)中左ノ如ク修正ス

第十六條ノ三中「保險料ハ」ノ下ニ「年額二百圓ヲ限リ命令ノ定ムル所ニ依リ」ノ十八字ヲ加フ

第十六條ノ三ノ次ニ左ノ二行ヲ加フ

附則

本法ハ大正十三年分所得稅ヨリ之ヲ適用ス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員會ノ修正ニ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ所得稅法中改正法律案、衆第二十號ヲ問題ニ供シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵榊原隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵榊原隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十、産業組合法中改正法律案、第十一、日本勸業銀行法中改正法律案、第十二、郵便貯金法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、勸修寺伯爵ノ登壇ヲ望ミマス

産業組合法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十三日

右特別委員長

貴族院議長公爵徳川家達殿

伯爵勸修寺經雄

日本勸業銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十三日

右特別委員長

伯爵勸修寺經雄

貴族院議長公爵徳川家達殿

郵便貯金法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十三日

右特別委員長

伯爵勸修寺經雄

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵勸修寺經雄君演壇ニ登ル〕

○伯爵勸修寺經雄君 産業組合法中改正法律案、日本勸業銀行法中改正法律案、郵便貯金法中改正法律案ノ特別委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、此三案、産業組合法中改正法律案、日本勸業銀行法中改正法律案、郵便貯金法中改正法律案ガ特別委員會ニ付託ニナリマシタ、右三案何レモ産業組合中央金庫法案ガ實施サレマシタナラバ、其結果トシテ自然ニ起ッテ來ル問題デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテハ何等意見モ質問モゴザイマセヌデ、全會一致ヲ以テ原案ヲ可決スルコトニ議決イタシマシタ、右御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今勸修寺特別委員長ノ報告セラレマシタ三案トモ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 三案ノ第二讀會ヲ直チニ開イテ御異存ゴザイマ

セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 三案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ三案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會決議通りテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵林博太郎君 此際日程ヲ追加イタシマシテ、追加豫算案ニ付キマシテノ委員會ノ經過……豫算追加案、特第二號ヲ除キマシテ、他ノ全部ノ豫算委員會ノ經過ヲ御報告イタシタイト考ヘマスカラ、之ヲ議場ニ上程セラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 林伯爵ノ議事日程追加ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 大正十一年度歳入歳出總豫算追加案第二號、大正十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號、大正十二年度歳入歳出總豫算追加案第一號、大正十二年度歳入歳出總豫算追加案第二號、大正十二年度各特別會計歳

入歳出豫算追加案特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第二號、大正十二年度歳入歳出總豫算追加案第三號、大正十二年度特別會計歳入歳出豫算追加案特第二號、大正十二年度歳入歳出總豫算追加案第四號、會議、委員長報告

一大正十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一大正十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

一大正十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

一大正十二年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一大正十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

一大正十二年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

一大正十二年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

一大正十二年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月二十五日

豫算委員長 伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、大正十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、大正十二年度歳入歳出總豫算追加案(第

二號)豫算委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

右貴族院規則第四十八條ニ依リ提出候也

大正十二年三月二十五日

男爵木越 安綱 江木 千之 仲小路 廉

男爵坂本 俊篤 男爵目賀田種太郎 男爵阪谷 芳郎

岡田 良平 上山 滿之進 男爵千秋 季隆

男爵小畑 大太郎 男爵東 郷 安 男爵矢吹 省三

木内 重四郎 阪本 鈺之助 若槻 禮次郎

菅原 通敬 江木 翼 湯淺 倉平

矢口長右衛門 藤本 閑作

貴族院議長公爵德川家達殿

豫算委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

大正十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、大正十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)及大正十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)中退職特別賜金ノ款項中判任官以上ノ退職者ニ支給スヘキ退職特別賜金ノ二割ヲ減スルノ趣旨トスルコト

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 唯今日程ニ上リマシタル諸追加豫算案ニ付キマシテ、委員會ノ經過ヲ御報告ニ及ビマス、即チ去ル三月二十日委員付託ニナリマシタル大正十一年度歳入歳出總豫算追加第二號、特第一號、追第一號及大正十二年度追加案第一號並ニ去ル二十三日豫算委員ニ付託ニ相成リマシタル大正十二年度歳入歳出總豫算追加案第二號、其他ニ付キマシテ御報告ヲ致スノデアリマス、併シ特第三號即チ大正十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加ハ是ハ社會事業基金特別會計法案ガ衆議院ニ於テ未ダ議了セラレマセヌノデアリマシタルシテ、其關係上ハ除イテ置キマス、委員會ハ二十一日午後一時ヨリ今二十五日ノ午後ニ至ルマデ審議ヲ續ケタノデアリマス、此諸案ノ説明ニ付キマシテハ過日既ニ大藏大臣ヨリ十分ニ御説明ニナリマシタカラ、斯ル切迫ノ際デモアリマスカラハ省略イタシテ置キマス、質問ニ移リマシタ所、大體ニ於キマシテ特別賜金ノ問題ガ中心トナリマシテ、色々ノ問題ニ付テハ質疑應答ガアツタノデゴザイマス、結局此特別賜金ト恩給法ノ改正ニ付キマシテノ政府ノ意見ノアル所ヲ懇談的ニ聞クト云フコトノ爲ニ、九名ノ小委員會ヲ開クト云フ動議ガ出マシテ、是ガ成立ヲ致シタノデアリマス、即チ正副委員長ヲ除イテ、九名ノ小委員會ガ成立シタノデアリマス、去ル二十三日ノ夕刻、二十四日ノ午前ニ互リマシテ、此小委員會ガ開カレタノデアリマス、デ此委員ト政府トノ間ニ色々懇談ガアツタノデアリマスガ、要スルニ今回整理ニ依テ退職セラルル所ノ人々ガ受ケル所ノ特別賜金ト、戰場ニ於テ亡クナリマシタ者、即チ戦死者ガ受ケル所ノ救助金、遺族扶助料其他ノモノトノ關係ニ付キマシテ、色々ノ意見モ出テ、又質問モ出タノデアリマス、デ戦死者ト云フモノハ、是ハ兎ニ角國家ノ爲ニ一身ヲ犠牲ニ供シタノデアリマスカラシテ、之ニ向ッテハ十分ノ同情ヲシナケレバナラナイ、然ルニ今回退職スル者ノ特別賜金ト云フモ

ノハ、是等ノ戦死者ニ比シテ、比較的ニ薄イト云フコトハ、甚ダ其當ヲ得ナイト云フコトヲ感ズルノデアルト云フコトヲ以テ、色々懇談ガアツタノデアリマス、即チ是等ノ論ヲ爲ス所ノ委員ハ、金ニ於テハ別ニ印シハナイノデアリマスカラシテ、懷ニ這入ル金額全部ニ付テ比較スルノガ至當デアアル、戦死者ガ受ケル所ノ賜金額ト、今回退職スル者ガ受ケル所ノ金額トノ間ニ、餘リ甚ダシキ所ノ差ガアルト云フコトハ、是ハドツチカラ考ヘテモ不公平ナコトデハナカラウカト云フ、兩者間ノ比較ニ付テノ議論ヲ根據トシテ、懇談ヲサレタノデアリマス、然ルニ政府ニ於テハ、元來根本ノ趣旨ガ、サウ云フ意見トハ違ッテ居ルノデアアル、今回ノ特別賜金ト云フモノハ、其特別賜金其モノノ性質ノ上カラ論ジナケレバナラナイ、之ヲ受恩給者ノ恩給其他ノ問題ト聯結ヲシテ考ヘルト云フコトハ、政府ノ立論ノ取ラナイ所デアアル、要スルニ此兩者間ノ比較ヲスルト云フコトデアレバ、政府ノ立論ノ立場ガ違フンデアアルカラト云フノデ、結局是ハ此懇談會ト云フモノハ、遂ニ意氣投合セズシテ散會セザルヲ得ナクナッタノデアリマス、デ此二十四日午前ノ小委員會ガ終リマシテ、ソレカラ午後ニ互リマシテ、總會ヲ開イタノデアリマス、茲ニ又再ビ質問ニ移リマシテ、又特別賜金ヲ中心トシマシテ色々ノ問題ガ出タノデアリマス、今回ノ特別賜金ト、彼ノ恩給等トヲ比較シテ見ルト云フト、洵ニ相違ガアル、一萬圓ノ賜金ヲ戴ク……貰フト云フ者ニナリマス、一萬圓カラハ年々五百圓六百圓ト云フモノガ生レルノデアアル、一萬圓ト云フモノハ併シ子々孫々連綿トシテ元金ト云フモノハ傳ハッテ行クノデアアル、然ルニ戦死ヲシテ遺族扶助料トシテ五百圓貰フト云フ者ハ是ハ遺族ノ生存中ニ止マルノデアアルカラシテ、始ド是ハマルデ比較ニナラナイ、或ハ又特別賜金ト云フモノニ付テノ問題ハ、是ハ今度ニ限ルノデアアルカ、或ハ華府會議ノ結果ト見ルベキデアラウカ、陸軍ニ於テハ二年モ掛ッテ之ヲ整理シナケレバナラヌト云フヤウナコトデアアルガ、ドウシテサウ長イ間ノ時日ヲ要スルノデアアルカ、斯ノ如キ狀況ニ於テハ是ハ在郷軍人ナドノ不平ト云フモノハ抑ヘルコトガ出來ナイノデアアル、恐ラク斯ノ如キ運動ハ將來ニ於テモ永續スル所ノ端ヲ開クモノデハナカラウカト云フ、精シイ所ノ質疑ガアリマシタガ、ソレ等ハ會期切迫ノ際デアリマスカラ、茲ニ之ヲ省略ヲ致シマス、併シ政府ニ於キマシテハ先ホド申上ゲマシタ通り、是ハ立法ノ趣旨ガ違ッテ居ル、海軍ハ兎ニ角トシテ陸軍ニ於テハ華府會議ノ結果デハアリマセヌ、華府會議ノ結果トシテ見ルベキ性質ノモノデナイ、ソレカラ此普

通の場合ト違ヒマシテ、今回ハ少壯有爲ノ將校ナドヲ罷メサセルノデアリマス、殊ニ多數ガ一時ニ罷メルノデアル、從テ將來ニ於テ中將大將ニ進ムホドノ有爲ノ人物ガ、一度ニ職ヲ失フト云フコトニナルノデアリマスカラシテ、此際ニ於テ優遇スルト云フコトハ、特別賜金ヲ與フルト云フコトハ、ソレ自體ニ於テ適當ノ措置デアルト思フ、其他色々御話ハアッタノデアリマスガ、是等ハ省略ヲ致シテ置キマセウ、其外ハ例ノ本會議ニモ此程出マシタ所ノ、對支借款ノ問題ニ付キマシテ、色々ノ質疑應答ガ精シクアリマシタ、又對支文化事業ニ付キマシテノ質問モアッタノデアリマス、即チ團匪賠償金ト山東賠償金、此方面ヲ之ニ充テルノデアル、然ルニ製鹽業者ノ運動ノ爲ニ、此文化事業費ニ充ツベキ金ガ少クナルト云フ風ナ評判ガアルガ、其點ハ如何ニスルカト云フヤウナ質問モアッタノデアリマス、兎ニ角此賠償金問題ニ付キマシテモ、精シク質疑應答ガアリマシタ、今二十五日午後一時カラ……一時四十分カラ討論ニ這入リマシテ、茲ニ修正案ガ出タノデアリマス、即チ先ヅ一員ヨリ次ノ修正案ガ出タノデアリマス、第二號大正十一年度ノ總豫算ノ追加、又二號大正十一年度ノ總豫算ノ追加ノ中デ、陸海軍ノ將官特別退職賜金ヲ修正シタノデアル、陸海軍ニ於キマシテ、將校以上ノ賜金ニ付キ、十一年度ニ於テ、陸軍ニ於テハ五百九十四萬三千圓餘、十二年度ニ於テ九百十六萬圓餘、合計千五百四十萬圓餘、海軍ニ於テ十一年度、四百四十五萬九千圓餘、十二年度ニ於テ二百八十八萬六千圓餘、合計七百三十四萬五千圓餘、之ヲ全部合セマシテ二千二百四十四萬九千圓餘、尤モ此計算ハ大體ノ計算デアリマシテ、多分ハ後ホドニ修正意見トシマシテ、少數意見ガ出ルコトデアリマスカラシテ、色々御説明ガアルダラウト考ヘルノデアリマス、要スルニ之ニ對シマシテ、此二割ニ相當スル金額ヲ削除シタイト云フコトニナリマス、十一年度ノ豫算デ、陸軍省ノ十八款、海軍省ノ十九款、十二年度ノ豫算ニ於キマシテ、陸軍省十四款、海軍省十八款ニ互ツテノ削減デアリマス、其理由ト致シマシテハ、是ハ先程申上ゲマシタ中ニ包含シテ居リマスカラ、申上ゲル必要ハナイ、要スルニ特別賜金ニ關スル所ノ不平怨嗟ノ聲ヲ發スルノデアリマス、發案者ハ之ニ付キマシテ種々ノ方面カラ理由ヲ述ベテ居ラレルノデアリマス、此結果トシテ一年三千萬圓歲出ガ増加スルコトニナルデアリマス、是ハ憲法ノ上カラ見マシモ、豫算ノ上カラ見テモ未曾有ノ事實デアアル、或ハ是ヲ惡例ト言ッテ宜イ位デアアル、茲ニ於テ政府ガ當初ニ於テ築カレタ所ノ財政計畫ハ根柢ヨリ覆サレルモノデアルト

考ヘル等ノ御説モ伺ッタノデアリマス、要スルニ此特別賜金ト云フモノニ加フルニ、恩給ガ本年ノ十月ヨリシテ更ニ又加ルト云フコトニナルノデアルカラ、此重複ヲ緩和スルト云フコトニ於テ二割ヲ減ジタ、結局四百萬圓バカリ減ズルト云フコトニシテ、サウシテ此不公平ヲ免レルヤウニシタイノデアルト云フ所ニ御趣意ガアッタノデアリマス、之ニ續イテ又他ノ一員カラシテ修正案ガ出タノデアリマス、前ノ修正案ハ軍人ニ限ッテ居ルノデアルガ、茲ニ文官ニモ二割ノ削除ヲ致シタイノデアル、而シテ其方法ハ政府ニ大體一任シタイト云フヤウナ案ガ出マシタ、應テ兩發案者ノ間ニ於テ、之ヲ一括スルト云フコトニ統合セラレマシテ、討論ノ結果、採決ノ際ニハ、此全部文武官ニ通ジタル、一括シタル案トシテ採決ニナッタノデアリマス、其採決ノ有様ハ、出席總數ガ五十八、之ヲ可トスルモノガ二十デアリマシテ、此修正案ハ否決ニ相成リマシタ、次ニ特第三號ヲ除イテ他ノ追加豫算各案ニ付キマシテ、採決ヲ致シマシタ所、原案ヲ可トスルモノ多數デ以テ、可決ニ相成リマシタ譯デアリマス、最後ニ於キマシテ茲ニ希望ガ出タノデアリマス、而シテ此希望ハ總會ノ議ヲ經テ御報告ヲ致スト云フコトニ相成リマシタ次第デアリマス、之ヲ朗讀イタシマス

本邦固有ノ文化事業獎勵ニ關スル希望

歐洲大戰後世局ノ進運ハ愈々東西文明ノ接觸ヲ促カシ各民族ノ思想將ニ一大變化ヲ見ントス是ノ時ニ當リ帝國國民ヲシテ建國以降扶植培養セル固有ノ文化ヲ基本トシ時世ノ趨勢ニ鑑ミテ益々之ガ發達大成ニ勗メ以テ能ク世界ノ文明ニ貢獻スル所アラシムルハ眞ニ國家百年ノ大計ノ存スル所ニシテ亦古來君子國ノ稱アル我カ帝國ノ當サニ盡スヘキノ天職タリ然ルニ我カ國現下ノ狀況ヲ顧ミルニ東洋文化ノ淵源ニシテ夙ニ我カ國體ニ醇化シ祖宗列聖ノ遺訓タル皇道ヲ補翼セル漢學即チ儒教ハ維新以來歐米ノ文物ヲ移入スルノ火急ナリシカ爲メ自然ニ厭倦遺棄ノ傾向ヲ生セシノミナラス不幸ニシテ近年老儒碩學ノ應サニ國民ニ對シテ指導ノ任ニ當ルヘキ者次第ニ凋落シテ將ニ跡ヲ當世ニ絶タントス夫レ然リ今ニ及ンテ大ニ之カ善後策ヲ講スルニアラスンハ何ヲ以テカ國民ヲシテ前述ノ大業ヲ成就スルノ途ニ就カシムルコトヲ得ンヤ是レ斯學振興ノ經費ヲ計上セル本豫算案ニ對シ深遠ノ希望ヲ屬シテ之ヲ賛成スル所以ナリ庶幾クハ政府ハ此ノ趣旨ヲ體シテ本豫算ノ主眼トスル事業ノ監督ニ膺リ毫末遺算ナキヲ期セラレンコトヲ

此希望ガ出マシテ、サウシテ後、散會ト相成リマシタ次第デアリマス、詰リ此
原案ト云フモノハ多數デ以テ、以上ノ如キ經過ヲ以テ可決ニ相成リマシタ次
第デアリマスカラ、ドウカ諸君ニ於カレマシテモ、慎重審議ノ末、委員會ノ
經過通りニ御可決アラムコトヲ切望ニ堪ヘマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ少數者ノ意見ヲ朗讀イタサセ
マス

〔長書記官朗讀〕

豫算委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

大正十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、大正十一年度各特別會計歳
入歳出豫算追加案(特第一號)及大正十二年度歳入歳出總豫算追加案第
二號(中退職特別賜金ノ款項中判任官以上ノ退職者ニ支給スヘキ退職特別
賜金ノ二割ヲ減スルノ趣旨トスルコト

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ豫算委員會總會ニ於ケル少數者ノ意見ヲ申上ゲタク
考ヘマス、唯今委員長カラ御報告ニナリマシタ通りニ、此度ノ軍備縮小並ニ
行政整理ノ結果トシテ賜ハリマスル退職者ノ退職賜金ハ、大分ニ軍人諸氏ノ
間ニ議論ヲ生ジテ居ルノデアリマス、是ハ斯カル恩賜ノ趣旨ニ對シマシテ
モ、甚ダ遺憾ノ至リデゴザイマス、其原因ハ何レニアルカト云ヘバ、賜金ノ
支給ノ仕方ニ於テ差別ガアル、從來ノ退職者ト今回ノ退職者トノ間ニ等差ガ
アル、又現在ノ上ニ於テモ、戦死ニ賜ハルノト、退職者ニ賜ハルノト間ニ、
甚ダ不權衡ガアル、斯ウ云フ譯デアリマスノデ、是ガ爲ニ非常ナ議論ガ衆議
院ニ於テモ起リマシテ、遂ニソレガ恩給法ノ改正トナッタ譯デアリマス、衆
議院ニ於キマシテハ、政府ト折衝ノ結果、恩給法ノ改正ハ政府ニ於テ同意セ
ラレテ、十二年度カラ漸次ニ施行シテ、十六年度ニ至ッテ全部ヲ施行スルト、
斯ウ云フコトニナリマシテ、恩給法ガ貴族院ノ方ヘ廻ッテ譯デアアル、然ルニ
貴族院ニ於キマシテハ、尙ホ非常ニ議論ヲ生ジマシテ、遂ニ特別委員會ニ於
テハ、政府當局ト屢ニ交渉ヲ開イタ結果政府ニ於テモ更ニ事情ヲ洞察サレテ、
大正十二年度即チ本年ノ十月カラ恩給法ノ改正ヲ全部施行スルコトト云フコ
トニナッタデアリマス、茲ニ於テ此政府ガ最初ニ立テラレマシタ特別退職
賜金ト云フモノハ此恩給法ノ改正ニナルト云フコトヲ眼中ニ置カズニ調ベタ

モノデアアル、衆議院ニ於テ沸騰シテモ、尙ホ政府ハ十六年カラ實施スルト、
斯ウ云ッテ居ルノデアリマシテ、即チ此特別賜金ト云フモノヲ賜ハルノハ恩給
法ノ改正ト云フコトガ眼中ニナカッタ、少クトモ其事ヲ計算ノ上ニ置イテナ
イノデアアル、サウ致シマスレバ恩給法ノ改正ノ結果トシテ其退職者ニハ相當
ナル恩給ヲ賜ハルコトニナッタ以上ハ、其恩給ノ不足ヲ補フ意味デアッタ特別
賜金ト云フモノハ多少輕減サレルノガ至當デアアル、斯ウ云フ議論ナノデス、
即チ此退職賜金ト恩給法ノ改正トガ多少重複スル、ソレモ別ニ不平ガナケレ
バ大シテ、恩賜ノコトデアリマスカラ彼レ是レト云フ必要モナイノデアリマ
セウケレドモ、既ニ貰フ方ノ人ニ於テハ大ナル不平ノ聲ガアルトスレバ、折角
ノ恩賜ニサウ云フ不平ガアッテハ宜シクナイ、成ルベク其不平ノ聲ガナイヤウ
ニスルガ宜カラウ、ノミナラズ抑、此恩給法ノ改正ノ結果トシテ國民ハ約三千
萬圓ノ負擔ヲ一箇年ニ増加シタ譯ニナル、是ハ衆議院、貴族院ガ政府ニ求メタ
譯ニナル、日本ノ憲法ニ於テハ此歳出ヲ増スト云フコトハ政府ガ提出スルト
云フコトガ、憲法上又豫算上慣例ニナッテ居ル、如何トナレバ斯ウスルニア
ラザレバ政府ノ責任ヲ取ルコトガ出來ナイ、貴衆兩院ガ濫ニ豫算ヲ提案スル
コトガアッテハ政府ノ責任ヲ取メルコトガ出來ナイト云フコトカラサウナッ
テ居ル、恩給法ノ改正ハ法律ノ改正デアリマスケレドモ事實歳出ヲ三萬圓
増シタト云フコトニナレバ、即チ法律ノ結果トシテ歳出ガソレダケ増スノデ
アル、貴衆兩院ガ歳出ノ増加案ヲ出シタノト同ジゴトデアリマスカラ、從來
ノ慣例ニヒドク違ヒマスルケレドモ、如何ニモ政府ノ此處置ガ其當ヲ得テ居
ラナカッタガ爲ニ已ムヲ得ズ恩給法ヲ改正シ、尙ホ貴族院ニ於テ實施ノ期日ヲ
早メタ、サウシテ受恩給者ノ困難ナル事情ヲ幾ラカ緩和スルコトヲ努メタノ
デアリマス、サウ致セバ既ニ少カラヌ歳出ノ上ニ増加ヲ生ジタタメ當初、大藏
大臣ガ財政計畫トシテ此演壇ニ於テ述べラレタ今年度ノ財政計畫ヲ殆ド根柢
カラ覆サレタモ同ジコトニナル、斯ウ云フコトハ實ニ不幸ナコトデアルケレ
ドモ、併ナガラ已ムヲ得ザル事情デ斯ウナッタノデアアルガ、出來得ルナレバ成
ルベク無用ノ歳出ノナイヤウニ一文デモシナケレバ國民ニ對シテ濟マナイ、
今恩給ト特別賜金トガ重複スルナラバ其重複ヲ取ルト云フコトハ、即チ此歳
出ヲ幾分タリトモ輕減スル所以デアアル、即チ約二割、此二割ト云フコトハ精密
ニハ計算ハ出來マセヌガ、丁度特別賜金ト恩給法改正ニナリマシタ結果トヲ
相比較シテ考ヘテ割ヲ減セバ恩給法ヲ改正セラレナカッタ場合ニ略近イ、斯

午後五時五十一分散會

ウ云フ見當ナノデアリマス、勿論斯ウ云フ比較ト云フモノハ精密ニ出來ルモノデハナイ、而シテ前ニ申ス如ク貰フ方ニ不平ガアルノデアルカラ、旁、斯ノ如クニ修正シタ方ガ宜カラウ、即チ退職賜金ハ文武官ヲ通シテ政府ノ見込シテ居ル約二割ヲ減少シテ、尤モ支給ノ手續等ノコトハ、是ハ細カイ行政上ノ斟酌ヲ要スルコトデアリマスカラ、ソレマデ敢テ本員ニ於テハ立入ルモノデハナイ、其二割ヲ減ジタ範圍内ニ於テ、其二割ヲ減ズルト云フノハ、豫算ノ上ニ於テハ唯現金デアリマスケレドモ、政府ノ此度ノ支給法ニ依テ見レバ、公債ヲ以テ支給スルト云フノデアリマス、何レニシテモ、全體ノ上ニ付テ二割ヲ減ジテ權衡ヲ保タシメタ方ガ宜カラウ、殊ニ此不平ノ聲ノ強イノハ在郷軍人諸君ノ間ニアルノデアリマス、此在郷軍人諸君ハ敢テ他人ノ澤山金ヲ貰フコトヲ羨望スルト云フ意味デハナイ、軍人諸君ハ金錢ノ上ニハ極メテ淡泊ナ性質ナ譯デアリマス、唯コノ等シク在郷軍人デアッテ、其取扱ニ二様ノ差別ノアルト云フコトハ、自ラ士氣ニ關係スル、何トナク面白クナイ感ヲ殘ス、又既ニ斯ノ如クニ議論ガ起ッテ見レバ、此原因ヲ除カレナイデ、此儘ニ通過スルト云フコトニナッテ來ルト云フト、矢張りソレガ將來ノ禍根トナッテ、此大切ナル國防ノ重任ニ當ル在郷軍人ヲシテ不快ノ念ヲ起サセルト云フコトハ、甚ダ面白クナイ、成ル程、政府ノ立場カラ考ヘテ見マスレバ、此原案ヲ主張セラル、ノモ尤モナ所モアル、一旦斯ウ云フコトヲ言出シテ、ソレヲ又直スト云フコトモ誠ニ工合ガ惡イト云フ事情モアルノデアリマセウガ、理窟ヲ推進メテ行クト、ドウモ重複ニ物ヲ給スルト云コトハ甚ダ當ヲ得ヌノミナラズ、ソレガ喜ベバ宜イ、喜ベハ宜イガ、却テ重複ニ支給スル爲ニ不平ガアル、此位事理ノ明白ナコトハナイダラウト考ヘラレマス、其趣旨ニ依リマシテ、豫算委員總會ニ於テハ特ニ小委員マデ出來テ政府ニモ懇談ヲ致シ、又懇談ガ成立タナカッタ、其結果ヲ得ナカッタニ付キマシテハ、懇々質問モ致シ、又討論ニ入りマシテ、其趣旨ヲ申述べタ譯デアッタノデアリマス、然ルニ不幸ニシテ、其少數者ノ意見ハ成立タナカッタノデアリマシテ、之ヲ本會議ニ訴ヘ、本院ノ公平ナル裁斷ニ一任スルノ外ハナキニ至ッタノデアリマス、何卒此少數者ノ意見ノ方ニ御賛成アルヤウニ偏ニ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本院規則第五十八條ニ依リマシテ、是デ延會ヲ致シマス、明二十六日ハ午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス